

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

2017 年度学校評価報告書



2018 年 3 月

目 次

1 本校の概要	1
(1) 沿革	
(2) 建学の精神、教育目標	
2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
重点目標①	2
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標②	3
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標③	4
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標④	5
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
3 アンケートの実施状況について	6
4 アンケート結果の分析について	7
・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
・中学校（保護者・生徒対象）学校評価	
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	11
(1) 自己評価の結果を受けて	
(2) アンケート結果について	
関西大学学長補佐／人間健康学部教授 岡田忠克	
6 校長の意見書	13
7 アンケート結果	15

1 本校の概要

(1) 沿革

- ① 1922 年 6 月 5 日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから 3 年後の 1925 年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1946 年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008 年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010 年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2018 年の 4 月には関西大学北陽高等学校第 11 期生、関西大学北陽中学校第 9 期生の入学式が行われる。

(2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「德育」「体育」を次のような観点で捉えている。

① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

② 德育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者と共に生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：学ぶ力の向上について 達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 「自ら考え判断する力」を養うための教育内容・方法の改善 【評価指標】 ・外部機関のプログラムに応募する。	【取組状況 (Do)】 「自ら考え判断する力」を養うため、海洋教育パイオニアスクールプログラム（笹川平和財団海洋政策研究所）に「サンゴの魅力～彩～」 「アマモから繋がる大阪湾再生」をテーマに申請し、2件とも採択された。「サンゴの魅力～彩～」は高校2年生の理系クラスで「アマモから繋がる大阪湾再生」は生徒会活動として実施した。また、関西大学高大連携センター主催の Advanced Science Program に参加した。 【達成状況 (Check)】 ・外部機関のプログラムに2件応募し、2件とも採択された (◎) 【今後の改善方策 (Action)】 「サンゴの魅力～彩～」については、2016年度に「第3回リバネス教育応援助成金リバネス賞（教育応援プロジェクト）」に採択（採択テーマ「サンゴの色は、だれが決めるの？」）され、今年度は更に修学旅行の環境学習とリンクさせる取組を追加して行った。今後は、修学旅行で継続的に取り組み、改善しながら特色あるプログラムにしていきたい。また、「アマモから繋がる大阪湾再生」についても採択1年目で、自ら考え判断する力は、授業だけでなく、放課後の様々な活動を通して身につけなければならない。そのために、このプログラムにおいて一人でも多くの生徒が関われる環境を作り出していきたい。
イ 英語教育による基礎・基本の徹底と実践的コミュニケーション能力の育成 【評価指標】 ・中学3年の合格目標を英検準2級10%、3級80%とする。 ・高校3年の合格目標を英検2級＝特進アドバンス65%、特進・文理15%、準2級＝特進アドバンス90%、特進・文理60%とする。	自己評価 【取組状況 (Do)】 中学では、生徒全員参加型で、より実践的な英語学習が可能となる Osaka English Village での体験学習を実施し、英語への興味・関心を高めた。また、中1、中2の授業で、日本人 TT（チームティーチング）による授業を行った。高校では、今年度から高1の特進・文理コースの生徒に、ipadを持たせ、ICT教育を進めている。高2特進文系で、総合学習の時間にネイティブによる授業を実施した。 【達成状況 (Check)】 ・中学3年の合格率は、準2級6%（△）3級46%（×） ・高校3年の合格率は、2級＝特進アドバンス45%（×）、特進12%（△）・文理11%（△）準2級＝特進アドバンス83%（△）特進54%（△）・文理50%（×）

	【今後の改善方策(Action)】 英検取得率は、昨年に比べ、文理コースで僅かに上昇したが、中学、高校のアドバンス、特進は下降した。来年度、中学3年生では、少人数の習熟度別授業を展開して、学力アップをはかりたい。高校では4技能をバランスよく指導していきたい。
--	---

(2) 重点目標②：希望する進路の実現について

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学へ送り出すこと 【評価指標】 ・ 関西大学への内部推薦の合格者を90%とする。	【取組状況(Do)】 関西大学への内部進学には、外部テストで一定以上の成績が求められる。それをクリアするためには、日々の学習の積み重ねが重要となる。「受験は団体戦」という考えのもと、高1の段階から進路指導部と連携した集会を計画的に行い、進学意識の向上に努めた。また、定期テスト後、スローラーナーに補習を行うなどサポートした。
	【達成状況(Check)】 ・ 北陽中学出身生徒は、内部推薦希望者91名中80名合格。合格率は87.9% (△) ・ 高校からの入学生は、内部推薦希望者169名中163名合格。合格率は96.4% (◎)
	【今後の改善方策(Action)】 高校3年生全体では内部進学合格率が93.5%となり、コース改編後、3年連続90%を超え、多くの生徒を関西大学に送り出すことができた。しかし、北陽中学出身生徒は、90%には達しておらず、今後、基礎学力の定着を図る必要がある。そのために英語、数学で中3から習熟度別クラスの編成を行っていきたい。
イ コースの教育内容を充実させ、生徒の希望が叶う進路の実現 【評価指標】 ・ 特進アドバンスクラスから近畿圏の上位国公立大学を中心に、15名の合格。 ・ スポーツコースから、スポーツ推薦、指定校推薦などでの大学進学率、80%。	自己評価
	【取組状況(Do)】 特進アドバンスクラスの生徒には、主体的に学習させることをテーマに、自学自習する大切さを伝え、自習教室を開放するなど生徒一人ひとりに応じた指導を行い、進路実現に向けてサポートした。スポーツクラスでは、大学訪問などを通じて大学の学びに触れ、進路意識を高めた。
	【達成状況(Check)】 ・ 阪大、神大、大阪市立大(2)、大阪府立大(2) 大阪教育大 防衛医科大(看) 合計8名(×)合格。 ・ スポーツコースから、スポーツ推薦(関西大学、近畿大学など) 指定校推薦(近畿大学、京都産業大学、大阪経済大学な

	ど) ほか 75 名中 58 名、77% (△) が進学
	【今後の改善方策(Action)】 特進アドバンスから国公立大学への進学者を増やすために、早い段階から受験勉強を意識させるプログラムを実施する。 スポーツコースにおいては、体育系学部以外の学部の学びについて理解を深める取組や、グループワークなど生徒参加型の進路学習を取り入れていく。

(3) 重点目標③：生きる力を育み、社会で活躍できる人材の育成について

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 学校行事や生徒会活動の活性化 【評価指標】 ・「学校行事指導体制」項目で保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 80%以上	【取組状況(Do)】 昨年度、中学校が目標値を下回っていたため、高校、中学校とも肯定率 80%以上となるように、生徒が主体的に学校行事、生徒会活動に取り組めるように支援した。今年度、高校の生徒会活動として、海洋教育パイオニアスクールプログラム「アマモから繋がる大阪湾再生」に取り組んだ。
	【達成状況(Check)】 ・(高校) 保護者対象アンケート：84% (○) - 生徒対象アンケート：81% (○) ・(中学校) 保護者対象アンケート：80% (○) - 生徒対象アンケート：83% (○)
	【今後の改善方策(Action)】 高校だけでなく、中学校が、今年度、目標を達成できたことは評価できる。体育祭や文化祭において、教員は、生徒が主体的に取り組めるようにサポートした。生徒会活動では、生徒の意見をくみ上げ、新しい取組を行い、また、生徒会執行部が、行事の運営に積極的に関われる環境を作り出した。今後も、改善を重ね、生徒が達成感を持てるようにサポートしていきたい。
イ クラブ活動の充実 【評価指標】 ・「部活動支援」項目で、(高校) 保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 80%以上 (中学校) 保護者対象、生徒対	自己評価
	【取組状況(Do)】 クラブ顧問は、専門的に指導できる顧問を、できるだけ配置したが、そうでないクラブにおいては、PTA の支援のもと外部の専門家の指導を何度かお願いした。一方で、先輩が後輩を指導する、卒業生が在校生を指導する体制作りを進めた。
	【達成状況(Check)】 ・(高校) 保護者対象アンケート：79% (△) - 生徒対象アンケート：79% (△)

象アンケート肯定率 70%以上	・（中学校）保護者対象アンケート：64%（△） 生徒対象アンケート：72%（○）
	【今後の改善方策(Action)】 高校のアンケートは、目標に僅かに届かなかった（－1%）が、満足度は低くない。中学校では、生徒アンケートで、昨年より 8%アップし、目標値を上回った。高校、中学、それぞれのクラブが、与えられた環境で、目標を掲げ活動し、自分自身が成長を感じ、また、結果にも繋がっていることが理由と考えられる。今後も、現在の方針を継続し、取り組んでいきたい。

（４） 重点目標④：学校の組織力の向上と活性化について

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 教職員間における連携の強化 【評価指標】 ・「教職員間連携」における関連項目で、教員対象アンケート肯定率 70%以上	【取組状況(Do)】 高校職員室をリノベーションし、4月からは開放的な明るい雰囲気職員室となり、職場環境の改善を行った。学校運営方針のもと、各主任が具体的な目標を作成し、先生方と議論し、意見を吸い上げ、管理職との面談時などを利用してミドルアップを図った。
	【達成状況(Check)】 ・教員同士、教員と職員間の連携 （組織面）教員アンケート：55%（×） （個人面）教員アンケート：81%（◎） ・ミドルマネジメントによる組織運営 （組織面）教員アンケート：76%（○）
	【今後の改善方策(Action)】 教員同士、教員と職員間の連携では、4段階で1評価の人数が減少したため、肯定率が昨年より 4%下がったが、平均値 2.60 と変わらなかった。この数字は、低い数字で改善しなければならない。また、この項目において、個人面と組織面の乖離が大きな課題である。会議をさらに活性化し、相手の意見や立場を尊重して、自分の意見が言える職場環境を作っていきたい。
イ 会議の有効性を高める 【評価指標】 ・「会議の有効性」における関連項目で、教員対象アンケート肯	自己評価
	【取組状況(Do)】 年度当初、職員会議で学校運営方針を伝え、分掌主任、学年主任、教科主任には、会議が、活発な議論の場になるように要請した。有効でない会議を減らすだけでなく、運営委員会、職員会議においても、会議時間も意識して効率的な運営を心がけた。

定率 70%以上	【達成状況(Check)】 ・ 会議の有効性 （組織面）教員アンケート：80%（◎） （個人面）教員アンケート：87%（◎）
	【今後の改善方策(Action)】 主任が会議を円滑に運営し、その結果、先生方から建設的な意見がでるようになり、合意形成できるようになった。そのことにより、組織面、個人面、両方とも目標値を大きく上回った。さらに、そのことが、ミドルマネジメントによる組織運営の好評価にも繋がっている。今後も継続して取り組んでいきたい。

3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

- ① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を14項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ② 「保護者対象」および「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ13項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③ 上記の3種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。
- ④ 「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

I 教員対象学校評価

「個人」および「組織」 12月12日（火）～12月21日（木）

II 保護者対象学校評価

全学年 1月9日（火）～1月24日（水）

III 生徒対象

全学年 1月24日（水）

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、2月中旬に評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4 アンケート結果の分析について

◆ 中高教員対象（組織・個人）学校評価

組織と個人の自己評価の乖離が見られたが、近年、改善の傾向が見られ、少しずつではあ

るが、職場が組織的に機能し始めている。組織面と個人面の自己評価を項目別に分析し、今後の組織改善にいかしていきたい。

(1) 学校運営について

① ミドルマネジメントによる組織運営

主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。

2014 年：2.39 2015 年：2.76 2016 年：2.85 2017 年：2.91

② 会議の有効性(組織面)

職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。

2014 年：2.54 2015 年：2.73 2016 年：3.00 2017 年：3.02

ミドルマネジメントによる組織運営の評価が上昇し、会議の有効性についても肯定率 80%、3.02 という高い評価となっている。これは、分掌、学年の役割について、個人の自己評価が高いことと関係があるように思われる。分掌・学年において「自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている」という質問に対して、肯定率、評価点は次のようになっている。

分掌による役割：94.3% 3.36 学年による役割：84% 3.24

これらの数字から、教員一人ひとりが学校運営に携わり、それが組織として機能していると実感できていると考えられる。

(2) 教育内容について

① スローラーナーへの対応

この項目について、昨年度は、組織面、個人面とも 2.5 前後で比較的低い評価の項目であったが、今年度、組織面 2.95 個人面 2.75 と上昇した。スローラーナーへの対応については、教員が重点課題と考えており、教員が議論して、より良い指導方法を模索している。このことが、特に、中学校の生徒、保護者の評価上昇に繋がっている。

② 中高大連携事業の実践

「関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力している」という質問に対しては、組織面が 3.29、個人面が 3.15 と、アンケートにおいては、個人面の評価が高くなる傾向がある中で、教員が組織的に取り組んでいると感じている。近年、大学との連携では、高い評価を受けているが、これは、合併して 10 年、併設校の特色として連携事業を推し進めた結果である。

(3) 生徒支援について

① 家庭との連携状況

生徒が、充実した学校生活を送る上で、家庭との連携は不可欠である。生徒指導における保護者との連携は、組織面は 2.91、個人面は、2.92 と評価は低くないが、個人面の否定率は、26.4%と 4 人に 1 人の教員が家庭と連携できていないと感じている。この数字は、近年、大きく変動していない。保護者と連携できていない原因について検証する必要がある。

② 部活動支援状況、学校行事体制、進路指導体制

組織面、個人面とも例年 3.00 以上の高い評価となっており、これらの項目は、教員が組織的に、かつ、積極的に取り組んでいる。これが、中学校、高校とも、学校生活において、

生徒、保護者の高い満足度となっている。

◆ 高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

① 満足度（学園生活）

保護者：2013年度以降、評価は3.30～3.35と高い。

生徒：2013年度以降、評価は高かったが、2017年度はさらに高くなった。（3.21）

② 私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：例年通り大きな変化なく評価は高い。

生徒：2013年度以降、評価は下降していたが、2015年度より回復傾向にあり、2017年度において評価はさらに高くなった。（2.86）

③ 知育（学力向上における組織的な取り組み）

保護者：2013年度以降、ほとんど変化がなかったが、2017年度は評価が少し低くなった。（2.85～2.92）

生徒：2013年度から2014年度は大きな変化はなかったが、2015年度から評価が高くなり、2017年度、評価はさらに高くなった。（3.08）

④ 知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2013年度以降、ほとんど変化がなかったが、2017年度は評価が少し低くなった。（2.68～2.73）

生徒：2013年度より評価は上昇傾向だったが、2017年度、評価はさらに高くなった。（3.07）

⑤ 徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2013年度以降、ほとんど変化がない。（3.16～3.22）

生徒：2013年度以降、評価は上昇傾向だったが、2017年度、評価はさらに高くなった。（3.17）

⑥ 進路指導（進路指導体制）

保護者：2013年度以降、評価は大きな変化はなかったが、2016年度以降、評価が少し高くなった。（2.83～2.91）

生徒：2013年度以降、評価は上昇傾向だったが、2017年度、評価はさらに高くなった。（3.21）

⑦⑧ 生徒会活動（部活動支援状況・学校行事指導体制）

保護者・生徒とも高い評価を得ていたが、2017年度も同様に高い評価であった。

（２）分析

「学校生活の満足度」の推移を見ると、保護者の評価は、あまり変化はない。生徒の評価は、2017年度において非常に上昇している。また学年進行に伴い保護者も生徒も評価が上昇している。2017年度においては、「学校運営」「教育内容」「生徒指導・生徒支援」「教員研修」「その他」のすべての項目で、生徒の評価は非常に高くなっている。勉強のみならず学校行事やクラブ活動、生徒会活動などを通して大きく成長することを目指す本校の取組を理解していただいているのではないかと。またコースが改編され、その指導のノウハウを進路実現のためのきめ細かな指導に

活かした結果、満足のいく進路結果が高い評価の理由と考えられる。

◆ 中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

① 学園生活の満足度

保護者：2013年度より下降したが、2015年度が5%回復し、2016年度からA評価が4%の上昇となった。

生徒：評価平均値が、2ポイント台であったが、本年度は大幅に上昇している。

② 私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2013年度より平均値が年々下降傾向であったが、本年度より2.99ポイントから3.07ポイントに上昇した。

生徒：ここ数年2.60ポイント台を上下している状況であるが、本年度は、2.78ポイントと過去最高の評価となった。

③ 知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：年々下降傾向となり、2016年度は2.54ポイントであったが、本年度は、2.74ポイントと2013年度に次ぐところまで上昇した。

生徒：ここ数年2.00ポイント台を上下していたが、本年度は、3.01ポイントと初めて3.00ポイント台に上昇した。

④ 知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2016年度を底に年々下降傾向であったが、本年度は、2.63ポイントと大幅な上昇傾向となる。

生徒：2016年度を底に3.04ポイントと上昇した。

⑤ 徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2013年度から若干の下降傾向であったが、本年度は2013年同等に回復した。

生徒：過去年度は2.00ポイント台であったが、本年度は3.00ポイント台へと上昇した。

⑥ 進路指導

保護者：A評価が極端に少ないがA、B評価で50%以上が肯定的な結果であった。平均的にはほぼ例年通りの数字となった。

生徒：過去年度は2.60ポイント台であったが、本年度は、2.89ポイントと上昇した。

⑦ 部活動支援

保護者：2015年度をピークに下降気味である。

生徒：2015年度をピークに2016年度は下降したが、本年度は2.95ポイントと上昇した。

⑧ 学校行事指導体制

保護者：例年3ポイント台と上位で安定している。

生徒：2016年度まではほぼ横ばいであったが、本年度は3.22ポイントと上昇した。

（２）分析

全体として昨年度とは逆にほとんどの項目で、上昇傾向となった。補習指導や学力向上は、保護者、生徒とも上昇となり、日々の先生方の指導が表れてきているのではないだろうか。本

年度も昨年度に引き続き補習に参加しない生徒はみられるが、昨年度より減少してきている。

中学生の学校の教育方針の理解が低迷であったが、生徒の A 評価が年々増加している。少しずつではあるが、浸透してきているようである。教員は生徒への教育に対して信念を持った指導を心掛けているが、意見の相違も年々多くなりつつあり、保護者対象の講演会などを企画し、同じ考えで協力する関係をより深めることが必要であると考え。

クラブ活動においても上記と同じく考えの相違が多く、生徒と保護者のクラブに対する考えにギャップがあることがグラフから読み取れる。

進路指導については、生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中 3 での全体進路説明会のみである。三者面談などを利用して話は個別にしているが、学年などでの進路説明会を増やすなど改善する必要がある。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員から、本校の大きな課題であるスローラーナーへの対応について、意見が多く出された。「基礎学力が身につけていない生徒には、中学受験を終えて間もない中学 1 年生や中学 2 年生の段階から、高校への内部進学の話があり、保護者、生徒とも圧迫感を感じている。そのことにより、クラブ活動をやめる生徒もいる。」という意見があった。外部評価者からも同じような意見が聞かれ、この点については慎重に考える必要がある。教員は、生徒の学力向上、進路実現のため、あらゆる角度から指導、サポートしているが、それが、逆効果になっているということである。

この点について、評価委員からは、「指導方法を見直し、課題を軽減するなど、一人ひとりにあったサポートをすることも重要だが、教員と生徒との人間関係を大切にし、生徒に寄り添うことができれば、学力アップに繋がるのではないか。」という貴重な意見が出された。

クラブ活動について、「中学校は、種類が少なく、高校は、男子の強化クラブが多いため、クラブに入部したくても、入部できない」という意見が出されたが、この点については、キャンパスが狭隘であること、高校においては本校の母体となった北陽高校の歴史的経緯をご説明し、理解していただいた。

本校に入学した生徒、保護者の満足度アンケートについて、評価は高いが、何に対して高いか具体的には、分からない。評価委員からは、「学力が伸びた」、「語学力がアップした」などの客観的評価、「文化祭や体育祭が楽しかった」「クラブ活動が充実していた」など主観的評価にわけ、複数回答を可とした質問項目をつけるのも一つの方法だと意見が出された。

中高大連携事業の実践については、アンケートにおいて高い評価がされているが、大学教員と併設校の教員との交流、連携はできていないという指摘があった。

また、「高校校舎のリノベーションにより、今年度より、開放的な職員室に改装され、教員と生徒がコミュニケーションを取りやすくなっている。さらに、質問スペースが用意され、質問もしやすくなっている。このことも、高校生活の充実に繋がっているのではないか。」という意見も出された。

(2) アンケート結果について

外部評価委員として本年度の関西大学北陽高等学校・中学校の 2017 年度の評価について、

2017年度の学校教育計画、中高(教員対象)学校評価、高等学校(保護者対象・生徒対象)学校評価、中学校(保護者対象・生徒対象)学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

北陽高等学校・中学校の教育活動、重点項目の設定とその取組については、PDCA サイクルに基づき目標達成と課題解決に向けて重点的に運営されており評価することができる。学校法人全体の将来目標である「Kandai Vision 150」に基づき、関西大学北陽のビジョン・政策目標、評価指標を設定し、とりわけ重点的な活動について組織的かつ集中的に取り組まれている。

政策目標である「1. 個性を伸ばし、才能を磨く 3 コースの教育内容の充実」では、英語・数学での習熟度別授業の展開、アドバンスクラスの設置、成績不審者への対応等、全般的にきめ細やかな対応をされている。上位国公立大学への進学、英語検定の合格目標については、一部未達成の部分がみられるものの、指導法・シラバスの改善、少人数教育の導入、学力向上について意識の高い生徒へのモチベーションの維持等に工夫されており、引き続き教育内容の改善と適正な時間配分に向けて努力されたい。

「2. 多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、iPad を活用した研究授業の実施、各教室へのプロジェクターの設置等、ICT を活用した教育の展開がなされている。また、外部講師を招いたアクティブラーニングの教員研修も実施されており、情報社会、知識基盤型社会における新しい時代の教育方法について更に検討と改善を進めていただきたい。

「3. 『コミュニケーション能力を有し、自ら考え判断する力』を養う」では、具体的施策として、①特色ある理科教育の推進、②総合的な英語教育の推進、③中国語とネイティブによる英語コミュニケーション講座の開講、④オーストラリア語学研修のさらなる充実、⑤学校行事の充実、クラブ活動の奨励、生徒主体の生徒会活動を推進し、「自ら考え判断する力」を育成する、の5点を掲げている。とりわけ①では、外部資金を活用し海洋教育パイオニアスクールプログラムとして、珊瑚の魅力についての取組を行ったり、大学と連携し、理科的な素養や関心を引き出す関西大学アドバンスサイエンスプログラムを実施しており、生徒自身の興味関心により主体的な活動や学びにつなげていくことが企図されている。⑤のアマモから繋がる大阪湾再生への取り組み同様、今後も学校内だけでなく、学外での学びの効果について強く意識していただき、外部機関、関西大学の各学部・部局との連携について引き続き検討されたい。

「4. 大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」では、中大連携プログラム、高大連携プログラム、高大連携セミナー「関大の知にふれる(旧ワンセミナー)」、卒業生の話を聞く等の取組がなされている。関西大学で何を学ぶのか、学びたいかの意識づけや動機づけには、各学年や学齢の理解に応じた適切な情報提供と個別の生徒の興味関心についての把握、教員と生徒、保護者との密なコミュニケーションが必須である。既に高等学校・中学校においては、この点については取り組まれているところではあるが、生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起こらないよう、ポートフォリオの活用等を通じて、引き続き生徒個別のニーズの把握に努めていただきたい。

中高(教員対象)学校評価では、いくつかの項目について組織と個人の自己評価の乖離がみられるが、おおむね良好に好転しておりこれまでの取組による効果が表れている。学校運営については、ミドルマネジメントによる組織運営、会議の有効性について 2014 年度以降、高い評

価がなされている。学校長の見解からも、教員一人ひとりが学校運営に携わり、それが組織として機能している効果についての肯定感が影響していると考えられ、引き続き、北陽高等学校中学校の組織文化の醸成に努めていただきたい。

教育内容については、スローラーナーへの対応についてのポイントが上昇している。その点については評価できるものの、委員からは、クラブ活動と学業の両立についての保護者の不安に関して意見が出されている。学校としては、小テストの点数が低い生徒への基礎学力の底上げのため、補習学習の強化に努めているところであるが、生徒や保護者との理解の相違が見られているのも事実である。評価委員からは、保護者、生徒、学校間の情報共有、コミュニケーションがとれていればもう少し不安がなくなるのではないかとの意見も出されており、引き続き課題点について検討されたい。

生徒支援については、家庭との連携、部活動支援状況・学校行事体制・進路指導体制に関して学校長からは、保護者との連携について、組織面、個人面として評価は低くないものの、個人面での否定率に関して引き続き検証していく必要がある旨の見解を示されている。保護者との連携については、PTA 組織との活動のみならず、生活状況の把握等さまざまな情報共有が求められており、あらゆる角度からの検証を引き続き検討されたい。部活動支援状況・学校行事体制・進路指導体制については、組織面、個人面とも高い評価となっており、これまでの取り組みが功を奏したものとなっている。

高等学校における保護者、生徒対象の学校評価では、学校評価重要 8 項目の保護者の評価はおおむね高水準で推移しており、これまでの取組が評価されているといえる。引き続き、高等学校においては北陽のビジョン、政策目標に基づいて教育の推進、改革に努めていただきたい。ただ一方で「補習授業への取組」「きめ細やかな進路指導」の二点について、生徒によるアンケート結果と保護者との意識のズレも見られている。高等学校におかれては、保護者への情報提供、コミュニケーションをさらに強化いただくことが、保護者に高等学校側の取組についての理解を深めることにもつながり、意識のズレの改善になると考えられる。生徒の評価については、おおむねすべての項目について上昇傾向にあり、高等学校による教育活動等が評価されていることが伺える。引き続き努力されたい。

中学校における保護者、生徒対象の学校評価については、学校評価重要 8 項目の保護者の評価は、前年度に比べ多くの項目において好転している。2017 年度においては、学校長はじめ教職員が、重要項目の改善点に組織的に着手されたことが主因であると考えられ、本年度に重点的に取り組まれたことが評価されているといえる。引き続き、高等学校同様、北陽のビジョン、政策目標に基づいて教育の推進、改革に努めていただきたい。クラブ活動への学校全体の支援については、保護者と生徒の間に意識のズレも見られている。本委員会の議論においても、委員から学業とクラブ活動の両立についての意見が出されている。本来、学業とクラブ活動は相反するものではなく、生徒の学校生活において必要不可欠なものである。中学校におかれては、基礎学力の維持に重点を置きつつ、教科カリキュラム、クラブ活動、その他学校活動の時間や活動内容について精査し効率的な運用と改善を行っていただき、それぞれの活動が阻害されないよう調整を引き続き努力されたい。

(関西大学学長補佐/人間健康学部 教授 岡田 忠克)

2017 年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会委員一覧

No.	役職	氏名	任期	備考
1	委員長	田中敦夫	2017.4.1.～2018.3.31.	学校長
2	副委員長	内田正人	2017.4.1.～2018.3.31.	教頭（高等学校）
3		川崎安章	2017.4.1.～2018.3.31.	教頭（中学校）
4		岡田忠克	2017.4.1.～2018.3.31.	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授
5		遠藤晶子	2017.4.1.～2018.3.31	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 会長
6		田仲幸市	2017.4.1.～2018.3.31.	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 副会長

6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

校長 田中 敦夫

重点目標①「学ぶ力の向上」、②「希望する進路の実現」、③「生きる力を育み社会で活躍できる人材の育成」④「学校の組織力の向上と活性化」についての課題と今後の改善方策については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘と今年度の学校評価結果について記載することとする。

- (1) PDCA サイクルによって自己評価していることは、評価できるが、「希望する進路の実現」においては、取組の成果が芳しくない。その中で、北陽中学出身者の内部推薦の達成状況が好ましくないのは、一貫教育の意義を考えると改善する必要がある。

今年度、高校からの入学生の内部推薦合格率は 96.4%と目標は達成した。しかし、北陽中学校出身生徒の合格率は 87.9%、昨年度の 83.3%を上回ったが、目標達成には至っていない。北陽中学出身の生徒は、高い学力の生徒もいるが、高校からの入学生に比べ、学力の低い生徒の割合が高くなっている。基礎学力が身につけていない生徒には、補充授業や再テスト、個別指導などのサポートを行っている。また、高校 1 年時、英語と数学で習熟度別授業を展開している。来年度からは、中学 3 年から習熟度別授業を行い、生徒一人ひとりの学力の伸長をはかっていきたい。

また、希望する進路の実現においては、国公立大学への進学も重点目標に掲げている。しかし、今年度は、上位の大学をチャレンジしたこともあり、目標 15 人に対して 8 名と目標に届いていない。

なお、高校 2 年の修学旅行が終了した 12 月末、生徒自身にとっては、センター試験の 1 年前に学習合宿を実施するなど、早い段階から受験勉強を意識させるプログラムを実施していく。

- (2) 「スローラーナーへの対応」の在り方について、生徒と学校との間に意識の乖離があるように見られ、大幅な改善が望まれる。

「スローラーナーへの対応」については、高校保護者の評価は、昨年に比べ下降したが、その他の高校生、中学校の保護者、生徒については、上昇した。外部評価委員の中には、「数値目標の達成に腐心するあまり、中・高のいずれを問わず、当校の学習者の一部が該当の授業に対して何らかの圧迫感や閉塞感を抱いていないかどうか、慎重に吟味することも必要ではないか。」と指摘されている。以前に比べ、課題については、過多にならないように配慮し、また、小テストの合格基準も高くないようにするなど、生徒の学力に応じた取組を心がけている。来年度、中学校において、英語、数学で e ラーニングを取り入れ、きめ細かい指導を行っていく予定である。

高校、中学校とも、生徒の評価は、3.07、3.04 だが、保護者の評価は、2.68、2.63 と決して高くない。このことは、生徒は、補習授業等、適切なフォローがあると感じているが、保護者に伝わっていないことも考えられるので、学校での取組を保護者に様々な機会

を通して伝えていきたい。

(3) 中学校において「学園生活の満足度」「教育方針を理解されているか」「学力向上のために組織的な取組を行っているか」の評価が低く、原因を分析し、改善する必要がある。

昨年度、評価の低かった上記3項目について、保護者、生徒とも上昇している。保護者のアンケートにおいては、2013年以降、年々下降していたが、今年度は上昇し、2013年度に次ぐ評価に回復した。生徒のアンケートにおいては、この5年間で最高の評価となっている。3項目の中で、「学園生活の満足度」「学力向上のために組織的な取組を行っているか」については、生徒アンケートの評価が直近5年で初めて3.0を超えた。今までの学校評価を真摯に受け止め、改善につとめ、基礎学力の習得とスローラーナーへの対応、学校行事、部活動支援を行ってきたことが、ようやく数字に表れつつあるように感じられる。

ただ、「教育方針を理解されているか」については、生徒より保護者の方が評価は高く、「学力向上のために組織的な取組を行っているか」については、保護者より生徒の方が評価は高くなっており、この乖離をなくすことが課題である。

7 アンケート結果

図表

- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要8項目」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移（2013年～2017年）
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2013年～2017年）

数表

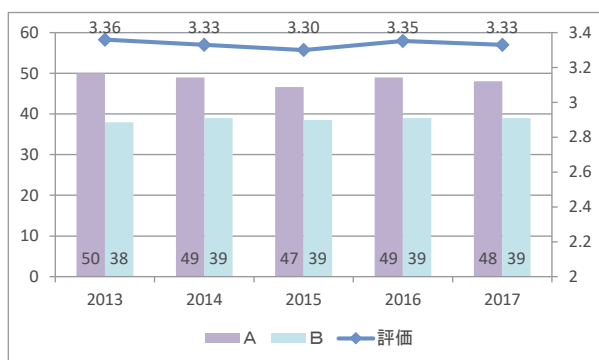
資料1ー1	2017年度	学校評価	教員対象アンケート	<組織>
資料1ー2	2017年度	学校評価	教員対象アンケート	<個人>
資料1ー3	2017年度	学校評価	教員対象アンケート	—「組織」の過去4ヵ年比較—
資料1ー4	2017年度	学校評価	教員対象アンケート	—「個人」の過去4ヵ年比較—
資料2①	2017年度	学校評価	保護者アンケート結果	—高中別—
資料2ー1	2017年度	学校評価	保護者対象アンケート結果（高校）	—過去4ヵ年比較—
資料2ー2	2017年度	学校評価	保護者対象アンケート結果（中学校）	—過去4ヵ年比較—

- 資料 2 ② 2017 年度 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料 2—3 2017 年度 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去 3 ヶ年比較—
- 資料 2—4 2017 年度 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去 3 ヶ年比較—
- 資料 3—1 2017 年度 授業評価分析資料（高校・中学校別）
- 資料 3—2 2017 年度 授業評価分析資料（教科別）

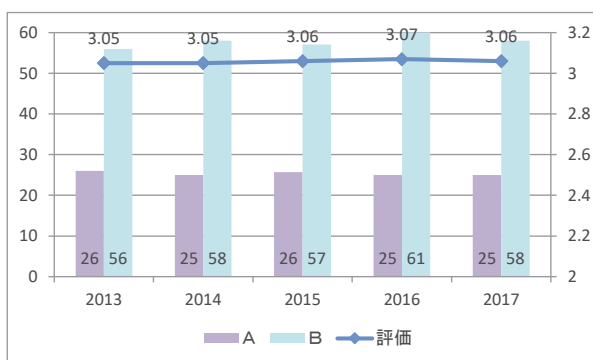
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2013年～2017年)

【グラフ ①】

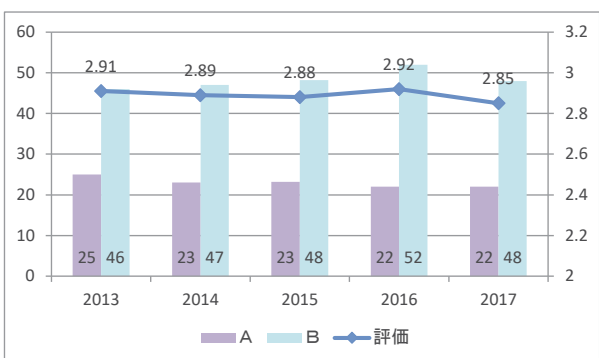
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



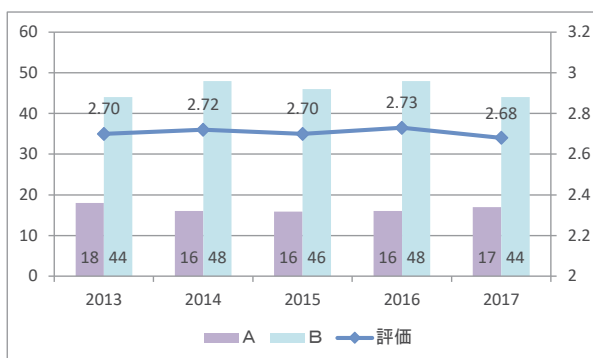
2 本校の教育方針を理解されていますか



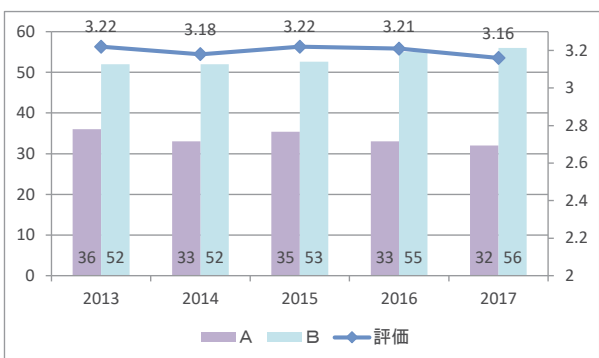
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



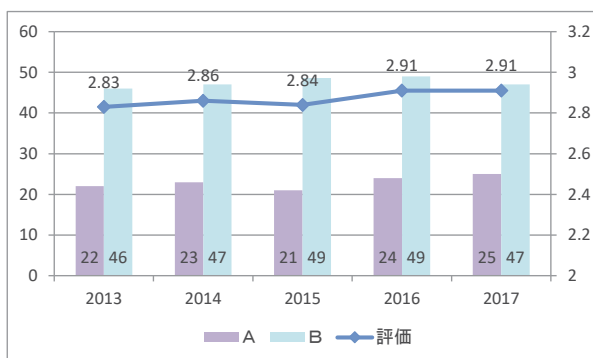
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



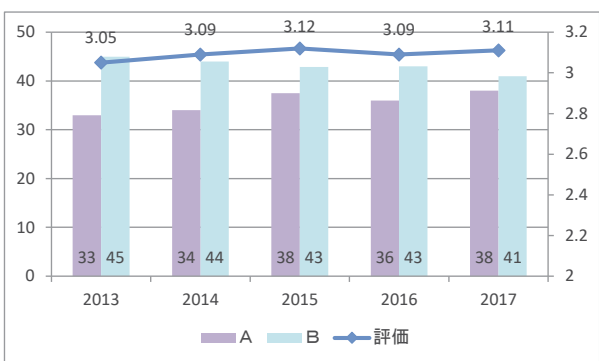
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



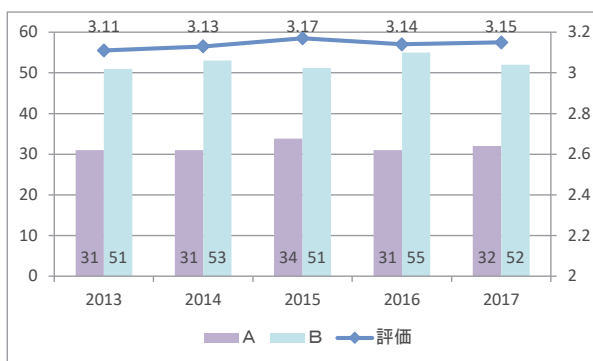
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか

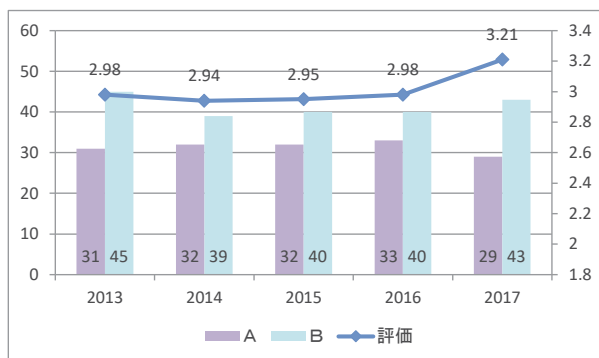


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

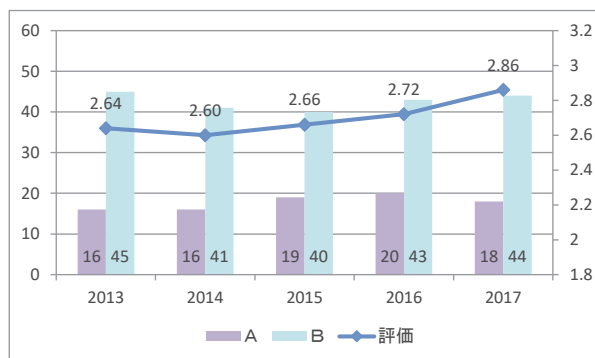
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2013年～2017年）

【グラフ ②】

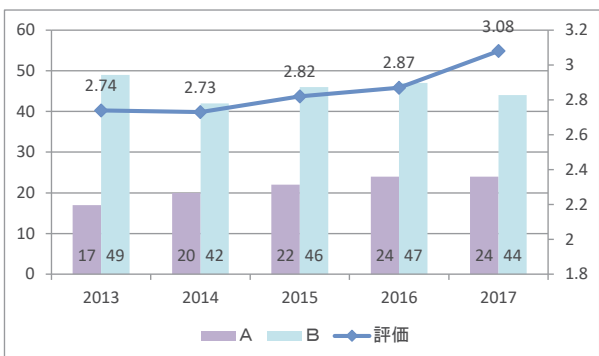
1 この学校に入学して良かったですか



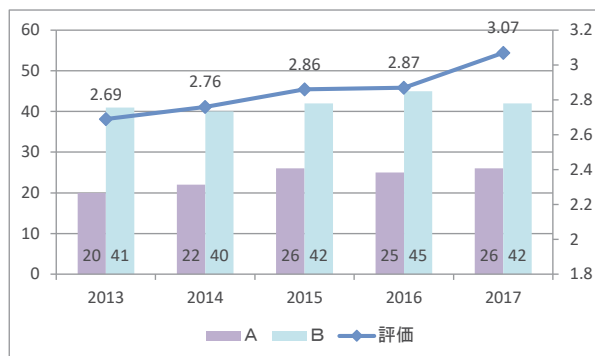
2 学校の教育方針を理解していますか



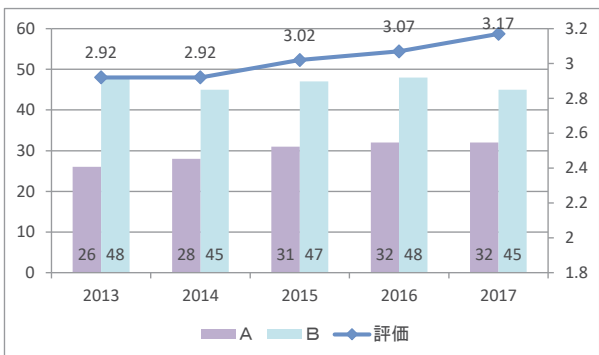
3 自分の学力は向上していると思いますか



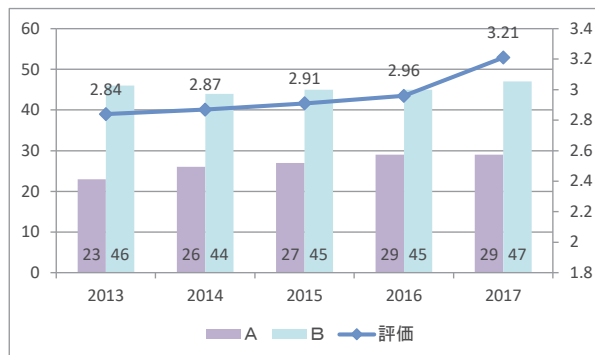
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



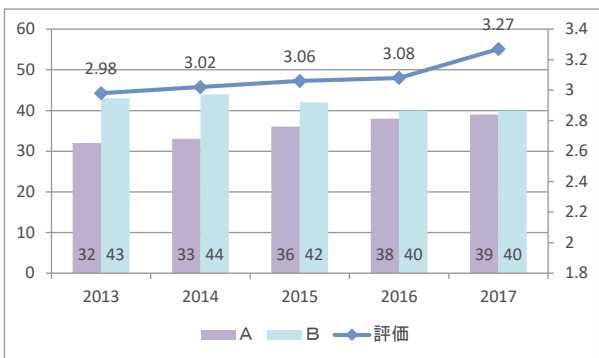
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



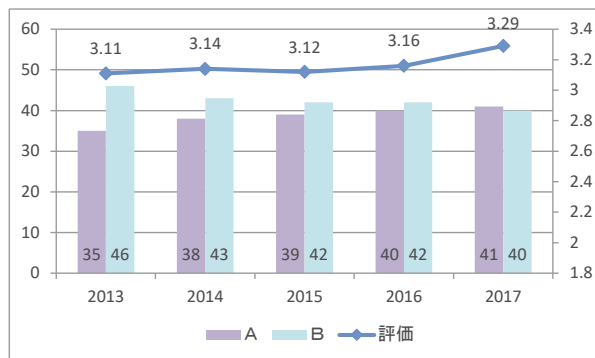
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

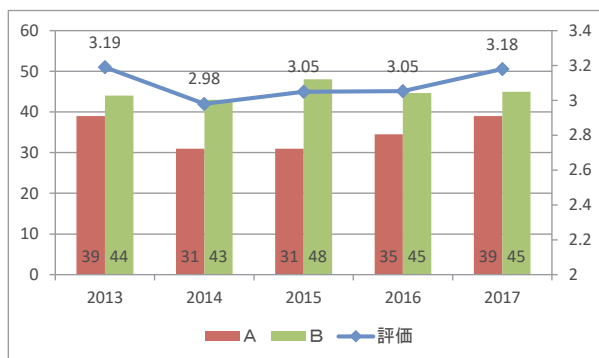


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

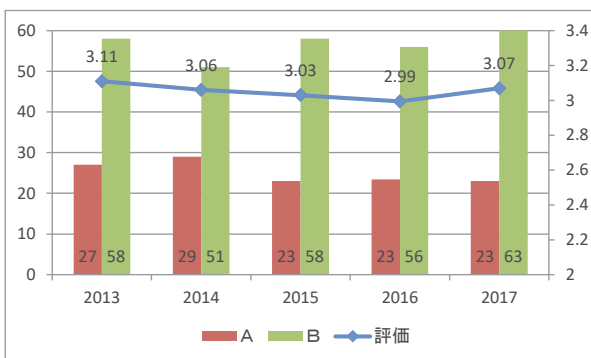
保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2013年～2017年)

【グラフ ③】

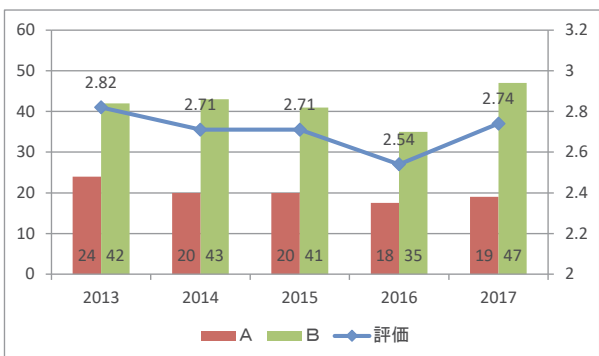
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



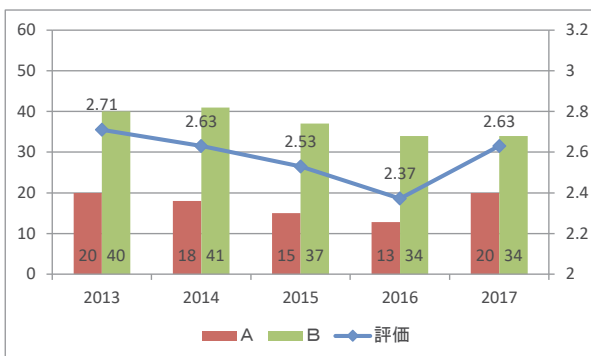
2 本校の教育方針を理解されていますか



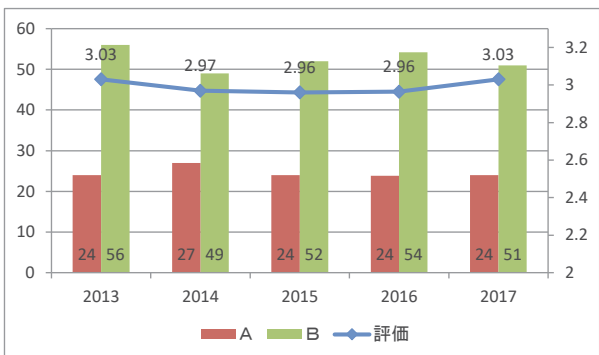
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



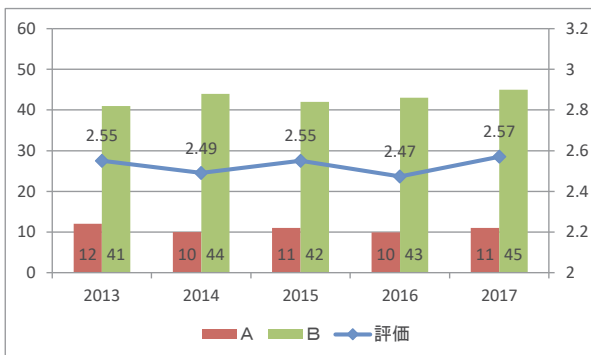
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



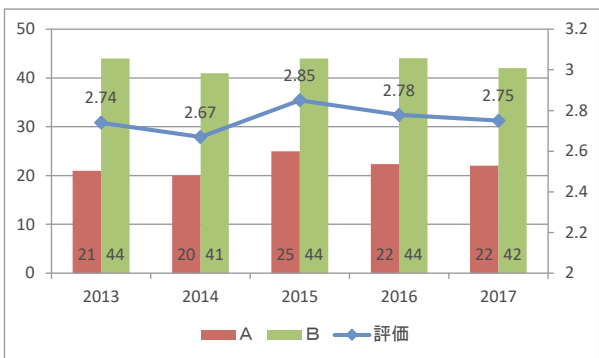
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



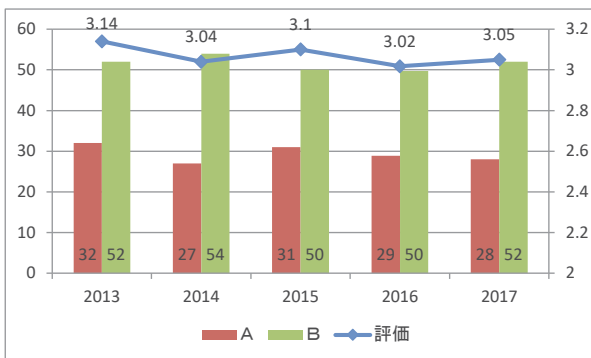
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか

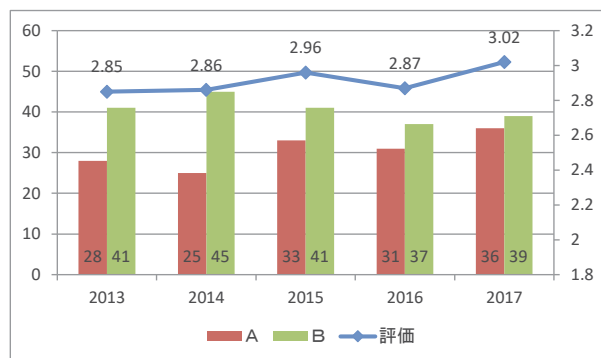


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

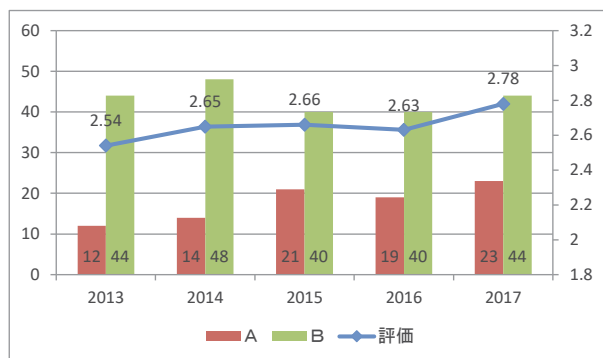
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2013年～2017年）

【グラフ ④】

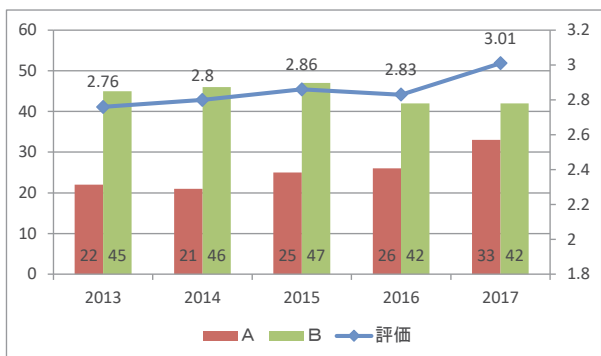
1 この学校に入学して良かったですか



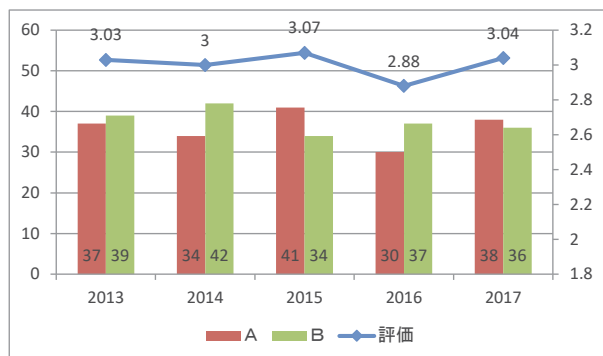
2 学校の教育方針を理解していますか



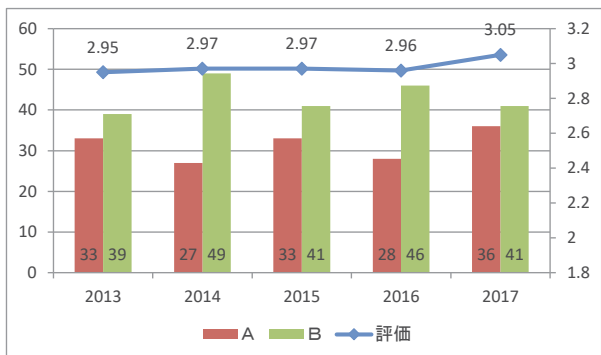
3 自分の学力は向上していると思いますか



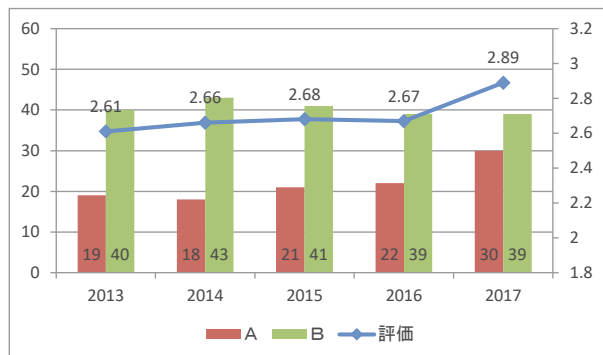
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



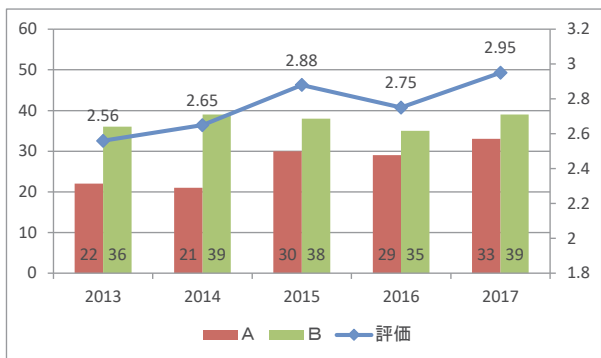
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



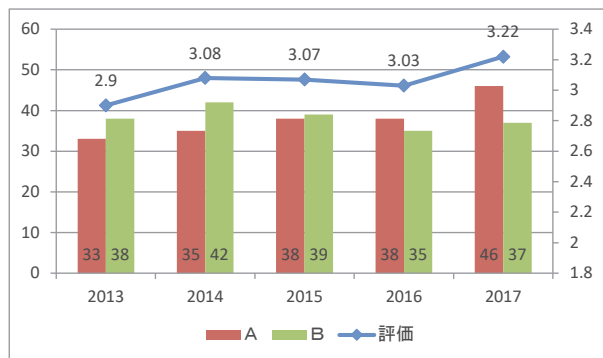
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

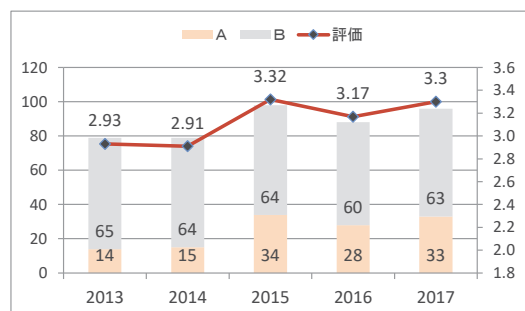


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

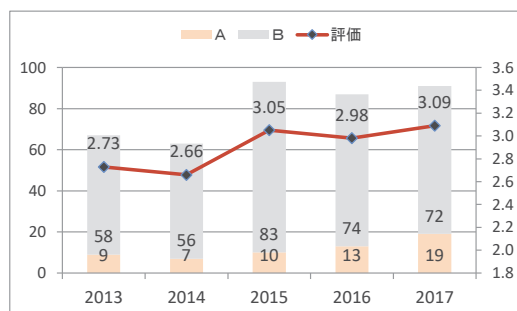
「学校生活の満足度」の推移（2013年～2017年）

【グラフ ⑤】

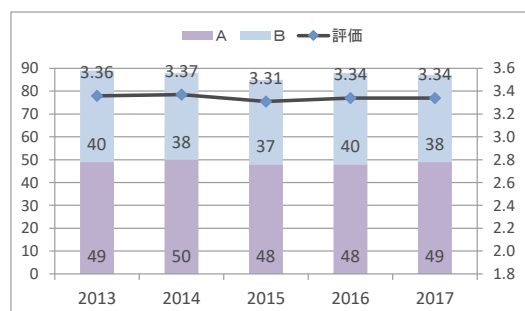
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



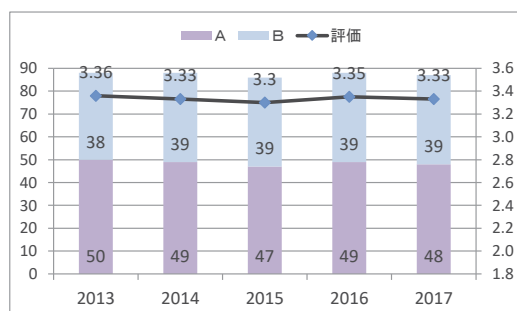
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



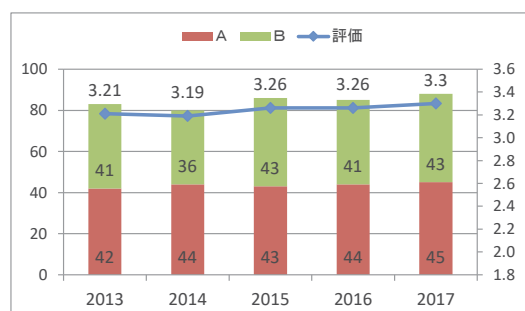
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



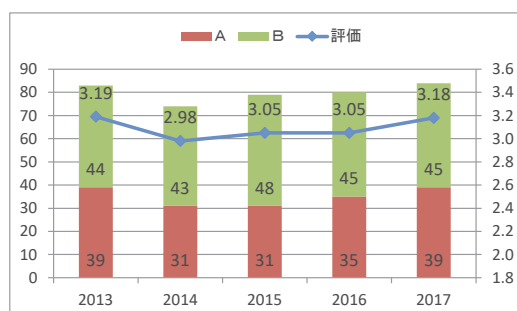
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



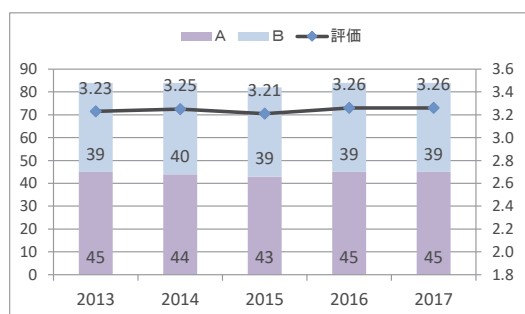
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



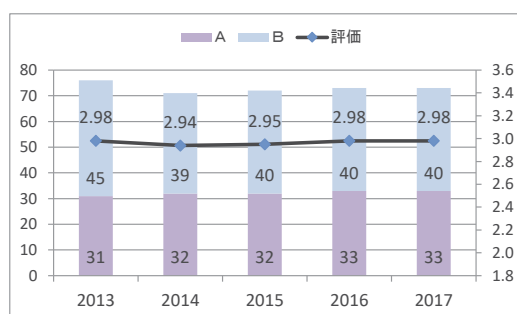
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



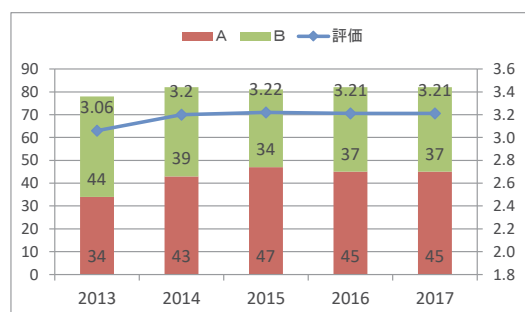
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



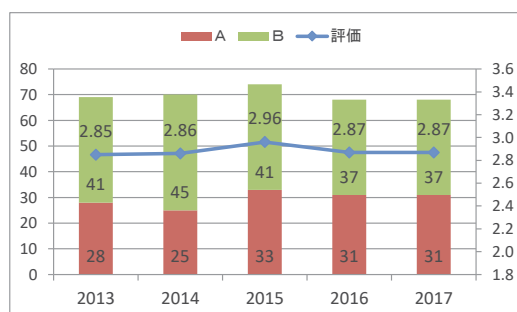
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



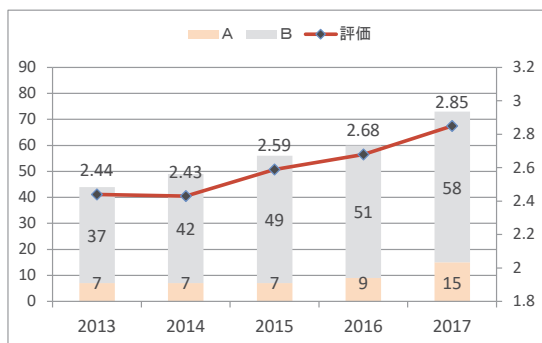
10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



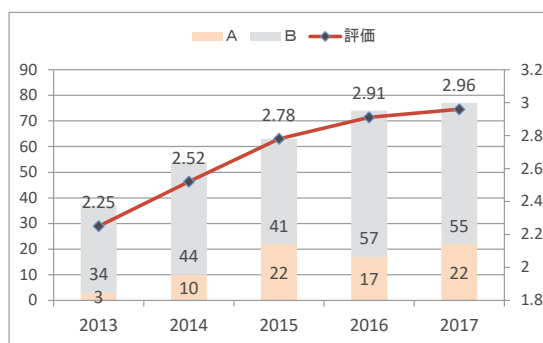
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2013年～2017年）

【グラフ⑥】

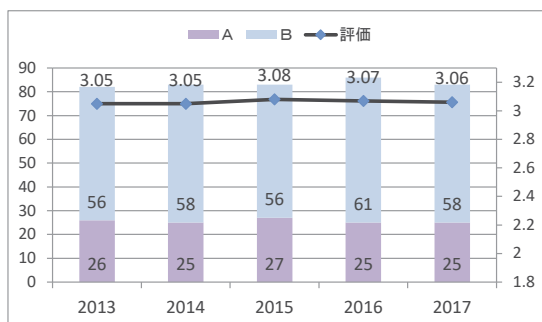
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



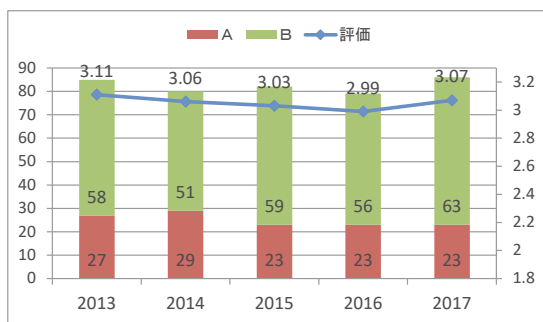
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



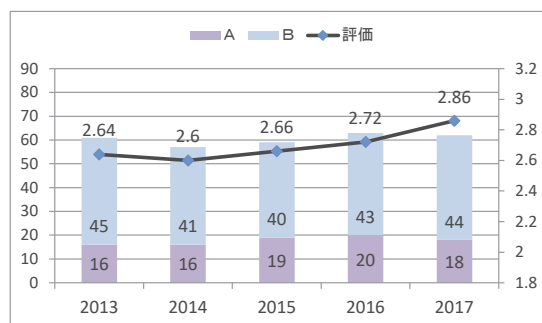
3. 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者対象）



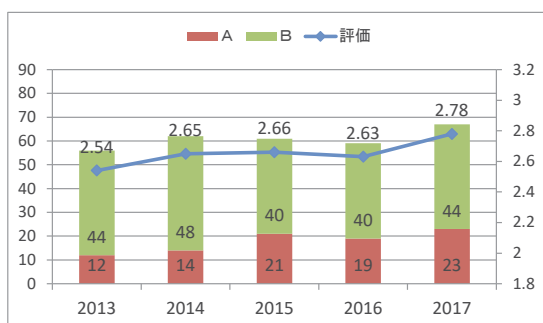
4. 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者対象）



5. 本校の教育方針を理解していますか。（高校生対象）

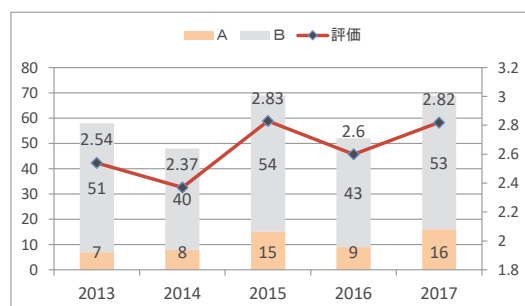


6. 本校の教育方針を理解していますか。（中学生対象）

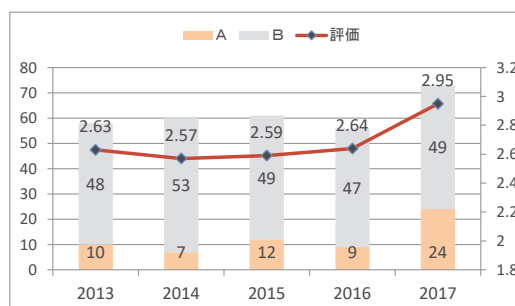


「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2013年～2017年） 【グラフ ⑦】

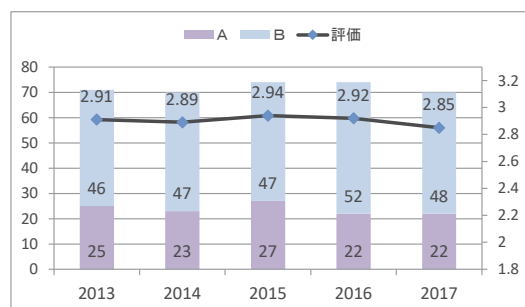
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



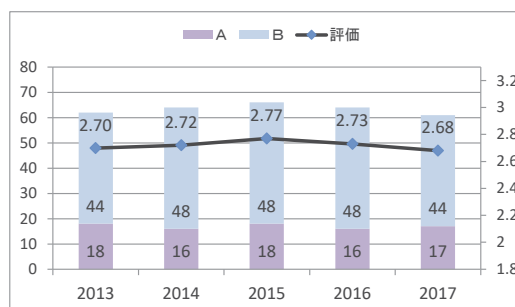
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



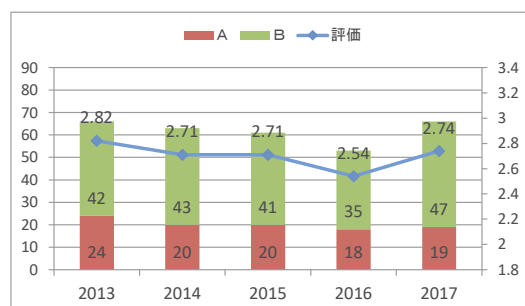
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



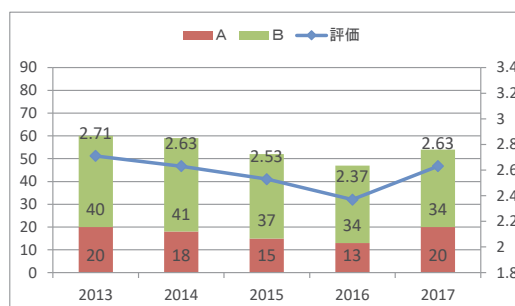
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



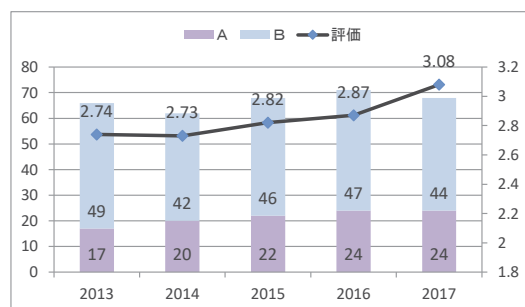
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



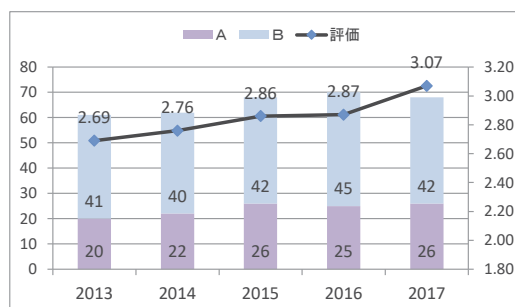
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



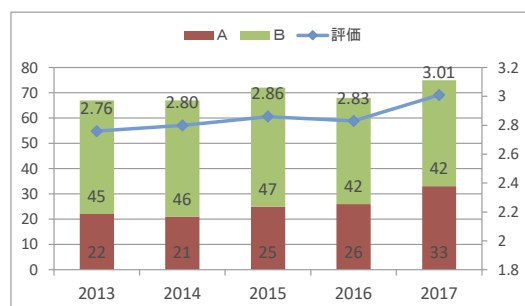
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



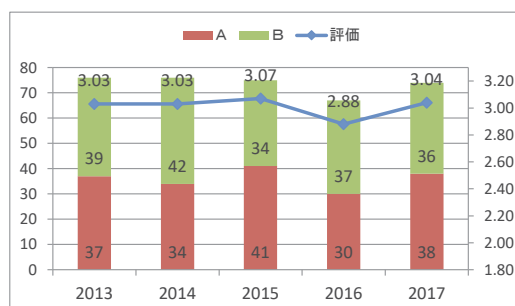
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)

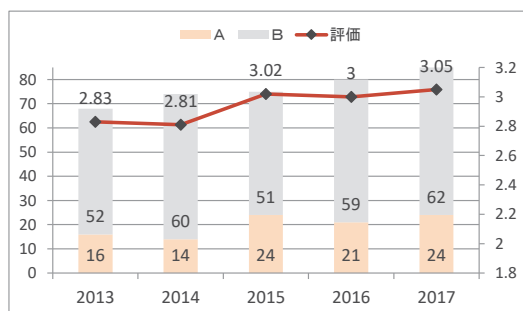


10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)

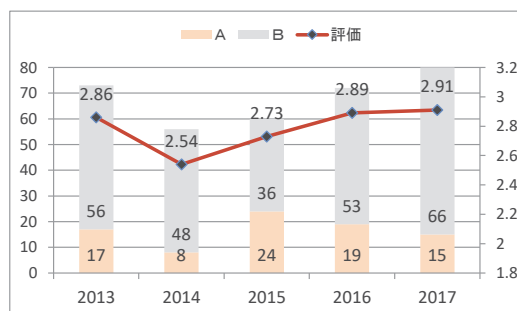


「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2013年～2017年) 【グラフ ⑧】

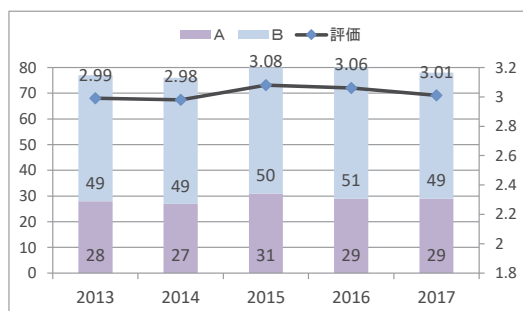
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



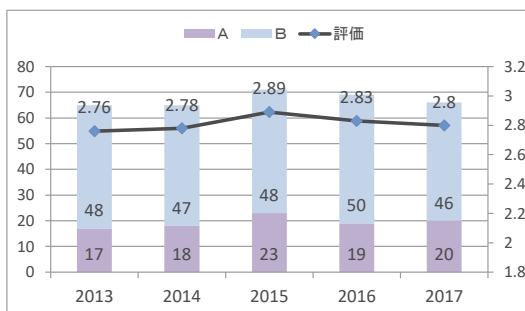
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



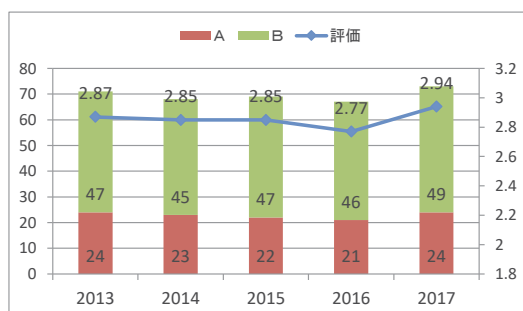
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



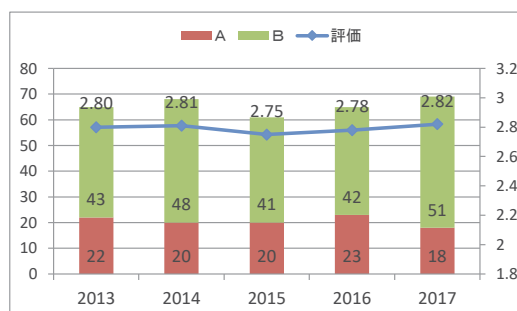
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



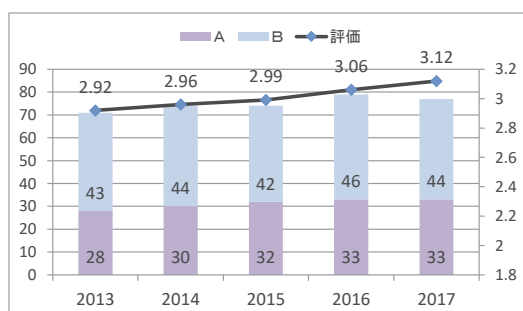
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



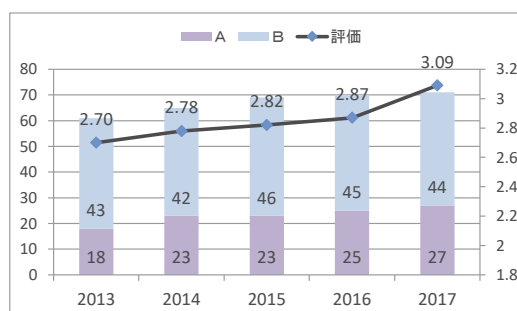
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



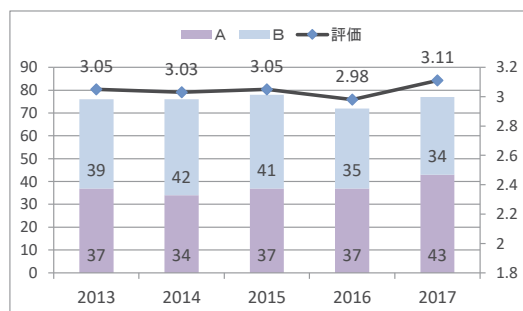
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



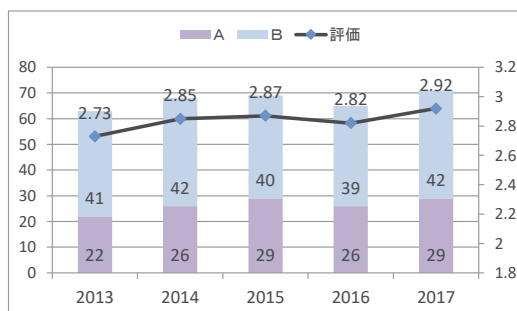
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)

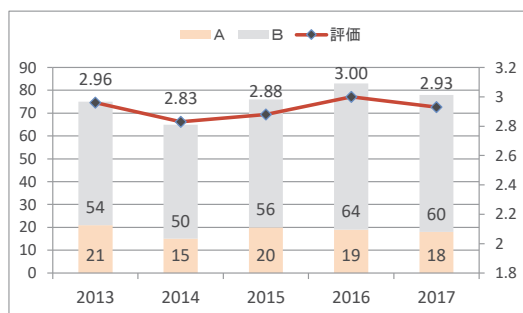


10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)

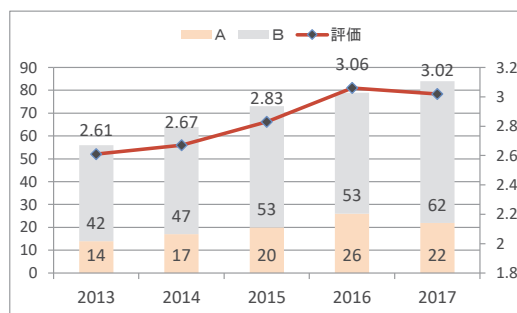


「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2013年～2017年） 【グラフ ⑨】

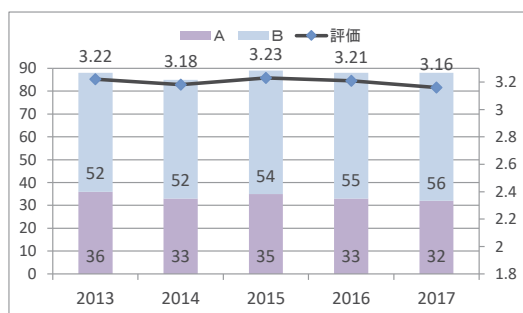
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



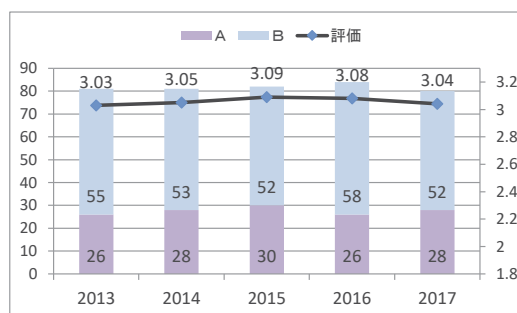
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



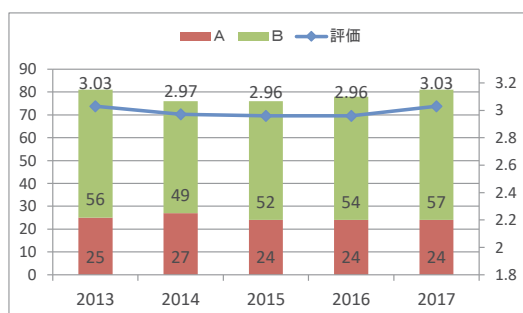
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



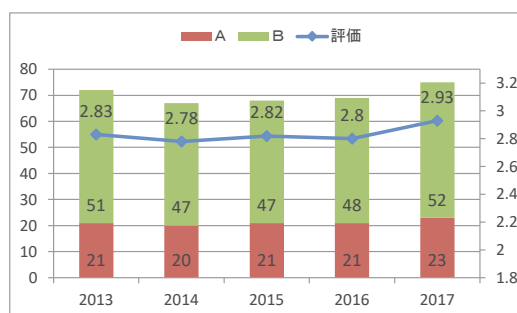
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



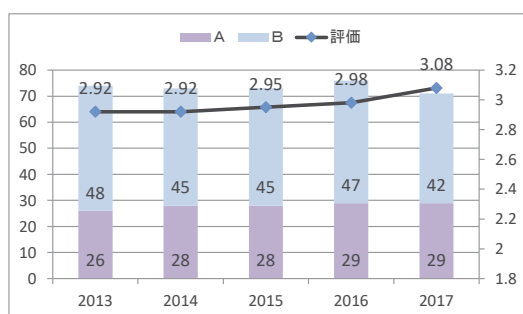
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



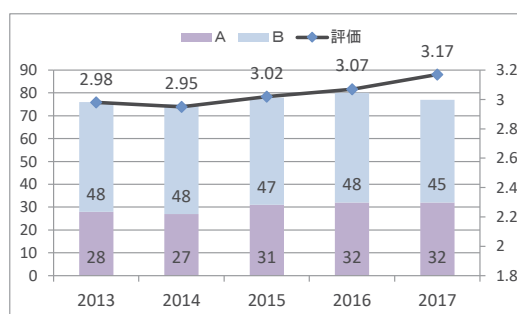
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



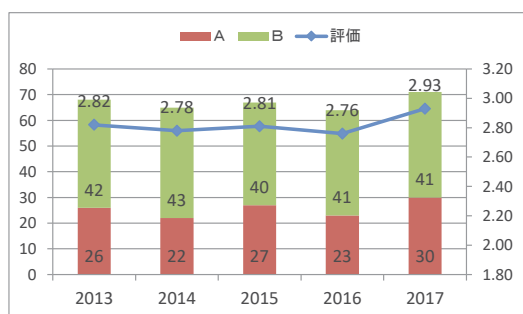
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



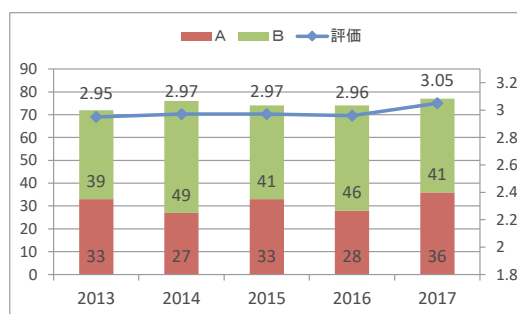
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



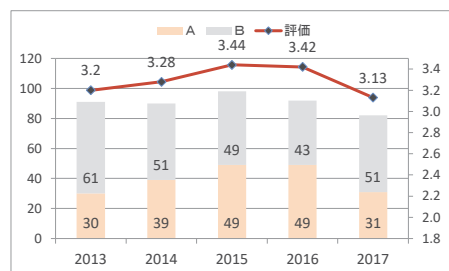
10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



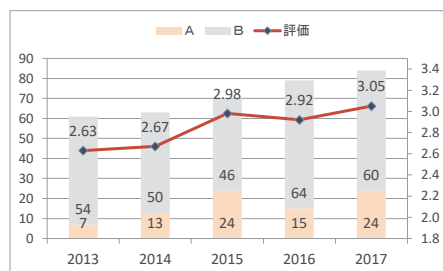
「進路指導体制」の推移（2013年～2017年）

【グラフ ⑩】

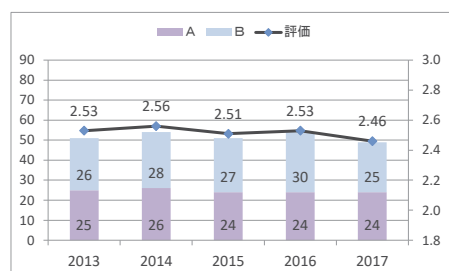
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている(教員組織)



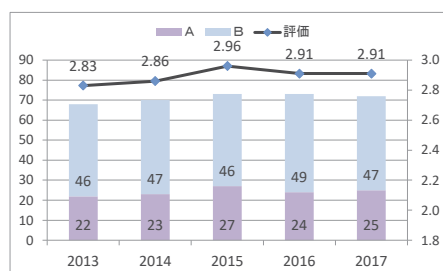
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である(教員組織)



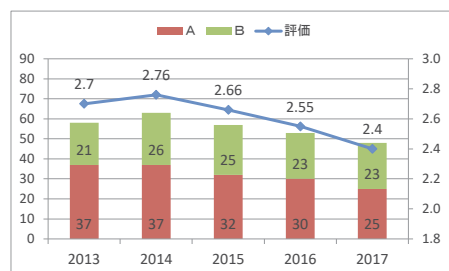
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか(高校保護者対象)



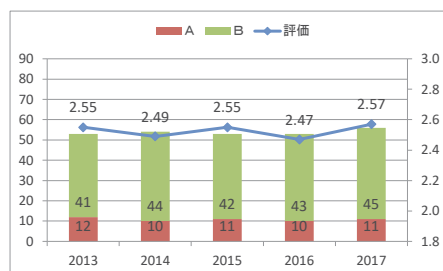
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校保護者対象)



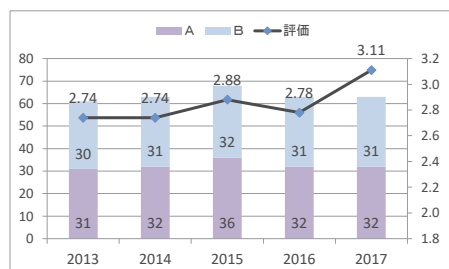
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか(中学校保護者対象)



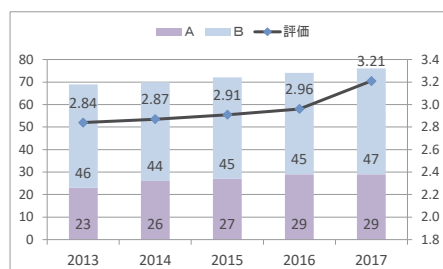
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学校保護者対象)



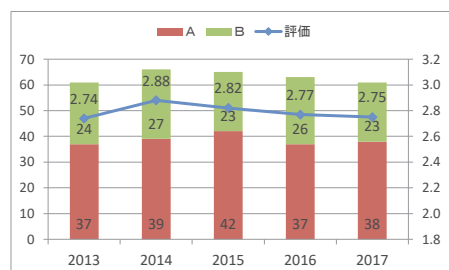
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか(高校生対象)



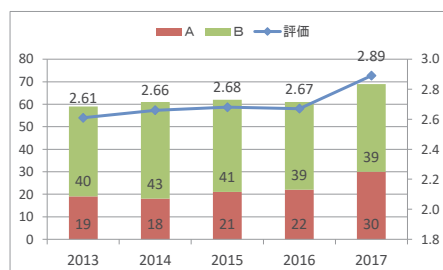
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校生対象)



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか(中学生対象)



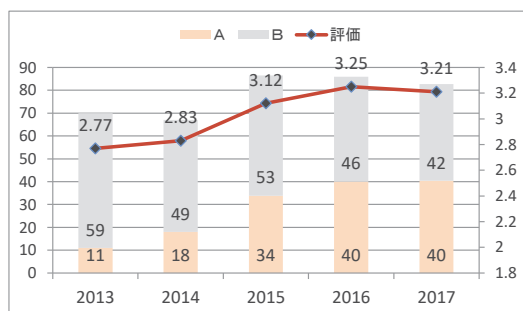
10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学生対象)



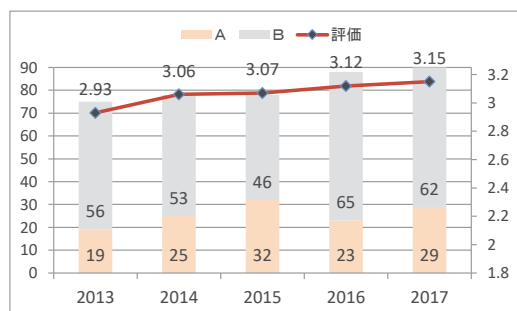
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2013年～2017年）

【グラフ ⑪】

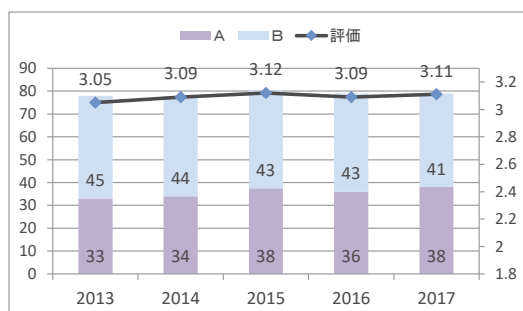
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



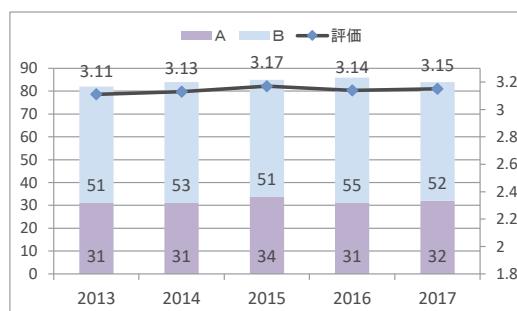
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



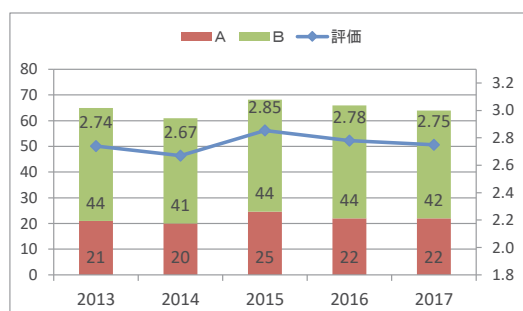
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



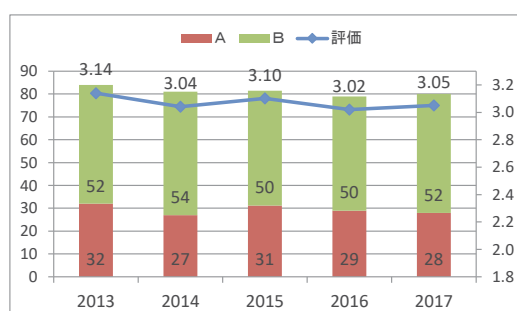
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



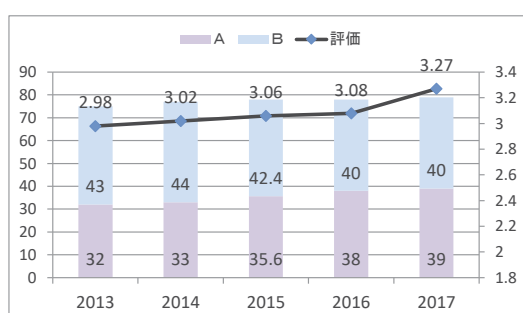
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



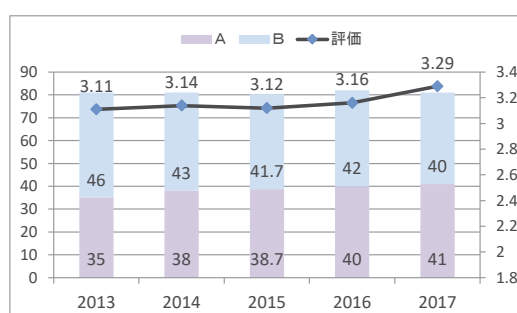
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



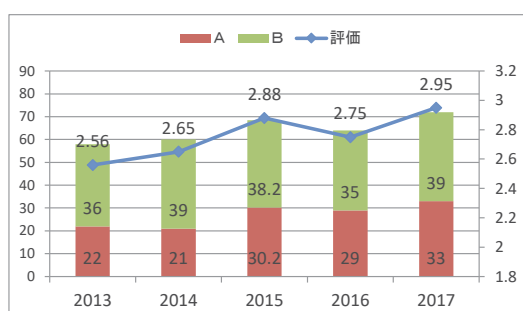
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



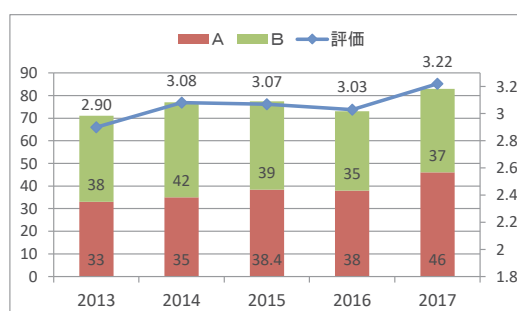
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



2017年度 学校評価 自己点検・評価項目 一組 織 — 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-1】

分類	大項目	No.	小項目	設 問	30項目	評価	A	B	C	D
学校全般		○ 1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。		3.30	33.3	63.0	3.7	0.0
		○ 2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。		3.09	18.5	72.2	9.3	0.0
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。		2.85	14.5	58.2	25.5	1.8
		4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。		2.96	21.8	54.5	21.8	1.8
	教職員間連携	5	教職員同士の連携	教員同士あるいは教員と職員間関係の大切にした協力体制ができています。		2.60	12.7	41.8	38.2	7.3
		6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。		2.91	14.5	61.8	23.6	0.0
	情報公開	○ 7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。		3.02	21.8	58.2	20.0	0.0
		8	協働体制の構築	学校課題について、教職員が協働して取り組む体制を構築している		2.51	7.3	43.6	41.8	7.3
	危機管理	9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。		2.95	25.5	49.1	20.0	5.5
		10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。		3.04	25.5	58.2	10.9	5.5
	地域との連携	○ 11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。		3.33	49.1	36.4	12.7	1.8
		12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。		2.64	18.2	32.7	43.6	5.5
教育内容	知 育	○ 13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。		2.82	16.4	52.7	27.3	3.6
		○ 14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。		2.95	23.6	49.1	25.5	1.8
	徳 育	○ 15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている。		3.05	23.6	61.8	10.9	3.6
		○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組を行っている。		2.93	18.2	60.0	18.2	3.6
	体 育	○ 17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。		3.13	27.3	61.8	7.3	3.6
		18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。		2.98	27.3	50.9	14.5	7.3
	人権教育	○ 19	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。		3.20	38.2	45.5	14.5	1.8
		20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。		3.02	29.1	45.5	23.6	1.8
	学校間連携	○ 21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。		3.29	45.5	40.0	12.7	1.8
		22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。		3.02	21.8	61.8	12.7	3.6
生徒支援	カウンセリング	23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。		2.91	14.5	65.5	16.4	3.6
		○ 24	カウンセリング体制	生徒・保護者の悩みに対して、教員による相談体制やカウンセリング体制が学校全体として整っている。		3.13	30.9	50.9	18.2	0.0
	生徒会活動	25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。		3.05	23.6	60.0	14.5	1.8
		26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。		3.21	40.4	42.3	15.4	1.9
	教員の研修活動	27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。		3.15	28.8	61.5	5.8	3.8
		○ 28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。		2.87	23.1	44.2	28.8	3.8
	資質向上	29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。		2.62	15.4	40.4	34.6	9.6
		30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。		2.45	13.7	37.3	29.4	19.6
	その他			ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。		2.45	13.7	37.3	29.4	19.6

注:○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思う D(1):そう思わない

2017年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一個人 ― 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.		設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学 校 運 営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。						
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。						
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行っている。						
		4	教職員同士の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。						
	危機管理	5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。						
		6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対する的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行っている。						
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。						
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。						
教 育 内 容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。						
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。						
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。						
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。						
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。						
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。						
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。						
		16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。						
		17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。						
		18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対するの理解を深め、積極的に協力をしている。						
	生徒指導と支援	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができている。						
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。						
		21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。						
		22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。						
教員の 資質向上	生徒会指導	23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。						
		24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。						
	25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。							

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

A(4): 思う B(3): どちらかというといい B(2): どちらかというと悪い B(1): そう思わない

3.12

評価基準

学校評価（教員対象） ―「組織面の自己評価」の年次比較（過去4カ年）―

【資料1-3】

		教員 組織面の自己評価																						
分類	大項目	小項目	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度									
			NO.	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D						
学校全般	私学の独自性	学園生活	○ 1	2.91	15.3	63.9	16.7	4.2	3.32	33.9	64.4	1.7	0.0	3.17	28.3	60.4	11.3	0.0	3.30	33.3	63.0	3.7	0.0	
		教育方針・教育目標	○ 2	2.66	7.0	56.3	32.4	4.2	3.05	10.2	83.1	6.8	0.0	2.98	13.2	73.6	11.3	1.9	3.09	18.5	72.2	9.3	0.0	
		合併の精神・併設校としての使命	○ 3	2.43	6.9	41.7	41.7	9.7	2.59	6.8	49.2	42.4	1.7	2.68	9.4	50.9	37.7	1.9	2.85	14.5	58.2	25.5	1.8	
		学習指導要領と年間指導計画	4	2.52	9.7	44.4	33.3	12.5	2.78	22.0	40.7	33.9	3.4	2.91	17.0	56.6	26.4	0.0	2.96	21.8	54.5	21.8	1.8	
学校運営	教職員の連携	教職員同士の連携	5	2.20	8.3	22.2	41.7	27.8	2.59	16.9	44.1	30.5	8.5	2.60	15.1	43.4	28.3	13.2	2.60	12.7	41.8	38.2	7.3	
		ミドルマネジメントの組織運営	6	2.39	6.9	40.3	38.9	13.9	2.76	22.0	49.2	23.7	5.1	2.85	18.9	52.8	22.6	5.7	2.91	14.5	61.8	23.6	0.0	
		会議の有効性	○ 7	2.54	9.7	40.3	38.9	11.1	2.73	20.3	44.1	32.2	3.4	3.00	22.6	58.5	15.1	3.8	3.02	21.8	58.2	20.0	0.0	
		協働体制の構築(2017～)	8	2.67	22.2	38.9	27.8	11.1	2.83	33.9	27.1	37.3	1.7	2.70	17.0	41.5	35.8	5.7	2.51	7.3	43.6	41.8	7.3	
	情報公開	ホームページの活用	○ 9	2.64	14.1	46.5	31.0	8.5	2.85	18.6	52.5	18.6	10.2	2.64	11.3	43.4	43.4	1.9	2.95	25.5	49.1	20.0	5.5	
		初動対応	10	2.66	15.5	45.1	28.2	11.3	2.93	28.8	45.8	22.0	3.4	2.87	18.9	52.8	24.5	3.8	3.04	25.5	58.2	10.9	5.5	
		避難訓練や安全対策	○ 11	2.98	33.3	43.1	15.3	8.3	3.20	40.7	44.1	15.3	0.0	3.26	43.4	41.5	13.2	1.9	3.33	49.1	36.4	12.7	1.8	
		地域との連携	12	2.52	6.9	48.6	37.5	6.9	2.66	18.6	45.8	30.5	5.1	2.66	17.0	39.6	35.8	7.5	2.64	18.2	32.7	43.6	5.5	
	分掌と学年	分掌における役割																						
		学年における役割																						
		基礎学力の習得																						
		学力向上における組織的な取組	○ 13	2.37	8.3	40.3	38.9	12.5	2.83	15.3	54.2	30.5	0.0	2.60	9.4	43.4	45.3	1.9	2.82	16.4	52.7	27.3	3.6	
教育内容	知育	模試や入試問題の活用	○ 14	2.57	6.9	52.8	33.3	6.9	2.59	11.9	49.2	35.6	3.4	2.64	9.4	47.2	41.5	1.9	2.95	23.6	49.1	25.5	1.8	
		スローラーナーへの対応																						
		授業評価の活用	○ 15	2.81	13.9	59.7	25.0	1.4	3.02	23.7	50.8	25.4	0.0	3.00	20.8	58.5	20.8	0.0	3.05	23.6	61.8	10.9	3.6	
		保護者との連携	○ 16	2.83	15.3	50.0	29.2	5.6	2.88	20.3	55.9	22.0	1.7	3.00	18.9	64.2	15.1	1.9	2.93	18.2	60.0	18.2	3.6	
	徳育	社会規範の理解とモラルの醸成	17	2.74	15.3	45.8	34.7	4.2	2.98	25.4	52.5	22.0	0.0	2.89	13.2	64.2	20.8	1.9	3.13	27.3	61.8	7.3	3.6	
		いじめへの対応	18	2.89	23.6	52.8	18.1	5.6	3.00	28.8	45.8	25.4	0.0	3.04	32.1	45.3	17.0	5.7	2.98	27.3	50.9	14.5	7.3	
		ボランティア活動の推進	○ 19	3.06	22.2	59.7	13.9	4.2	3.12	35.6	47.5	15.3	1.7	3.09	32.1	45.3	22.6	0.0	3.20	38.2	45.5	14.5	1.8	
		健康な身体づくり	20	2.72	11.1	59.7	22.2	6.9	2.78	20.3	49.2	28.8	1.7	2.94	24.5	47.2	26.4	1.9	3.02	29.1	45.5	23.6	1.8	
	人権教育	人権に対する指導体制	○ 21	2.72	18.1	41.7	34.7	5.6	2.95	30.5	45.8	20.3	3.4	3.19	35.8	49.1	13.2	1.9	3.29	45.5	40.0	12.7	1.8	
		中高大連携事業の実践	22	2.67	16.9	46.5	26.8	9.9	2.83	20.3	52.5	25.4	1.7	3.06	26.4	52.8	20.8	0.0	3.02	21.8	61.8	12.7	3.6	
		指導方針の一貫性		2.54	8.3	48.6	30.6	12.5	2.73	23.7	35.6	39.0	1.7	2.89	18.9	52.8	26.4	1.9	2.91	14.5	65.5	16.4	3.6	
		家庭との連携状況																						
生徒指導	生徒指導	組織的な指導体制	23																					
		カウンセリング体制	○ 24	3.28	38.9	51.4	8.3	1.4	3.44	49.2	49.2	1.7	0.0	3.42	49.1	43.4	7.5	0.0	3.13	30.9	50.9	18.2	0.0	
		進路指導体制	25	2.67	12.5	50.0	31.9	5.6	2.98	23.7	45.8	28.8	1.7	2.92	15.1	64.2	18.9	1.9	3.05	23.6	60.0	14.5	1.8	
		部活動支援状況	26	2.83	18.1	48.6	30.6	2.8	3.12	33.9	52.5	11.9	1.7	3.25	40.4	46.2	11.5	1.9	3.21	40.4	42.3	15.4	1.9	
	生徒支援	生徒会活動	27	3.06	25.0	52.8	20.8	1.4	3.07	32.2	45.8	20.3	1.7	3.12	23.1	65.4	11.5	0.0	3.15	28.8	61.5	5.8	3.8	
		校内外における教員研修	○ 28	2.48	11.1	36.1	43.1	9.7	2.71	22.0	45.8	28.8	3.4	2.88	17.3	55.8	25.0	1.9	2.87	23.1	44.2	28.8	3.8	
		教員の研修活動	29	2.44	11.1	41.7	33.3	13.9	2.66	16.9	42.4	35.6	5.1	2.65	15.4	40.4	38.5	5.8	2.62	15.4	40.4	34.6	9.6	
		教員相互の資質向上体制																						
	その他	国際化	国際理解	30	2.44	5.6	47.2	34.7	12.5	2.46	11.9	40.7	33.9	13.6	2.63	9.6	50.0	34.6	5.8	2.45	13.7	37.3	29.4	19.6

2.97

2.92

2.88

2.67

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): と思う B(3): どちらかといえば思う C(2): どちらかといえそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象) ―「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)― 【資料1-4】

教員 個人面の自己評価																						
分類	大項目	小項目	2014年度					2015年度					2016年度					2017年度				
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校全般	学園生活																					
		1	2.85	15.3	59.7	19.4	5.6	3.05	22.8	59.6	17.5	0.0	2.87	17.0	56.6	22.6	3.8	3.04	22.6	58.5	18.9	0.0
		2	3.25	37.5	52.8	6.9	2.8	3.32	42.1	47.4	10.5	0.0	3.36	43.4	49.1	7.5	0.0	3.28	43.4	43.4	11.3	1.9
		3	3.26	37.5	51.4	11.1	0.0	3.35	47.4	40.4	12.3	0.0	3.23	37.7	49.1	11.3	1.9	3.47	58.5	30.2	11.3	0.0
		4	2.99	30.6	41.7	23.6	4.2	3.19	38.6	43.9	15.8	1.8	3.08	32.1	45.3	20.8	1.9	3.06	26.4	54.7	17.0	1.9
学校運営	教職員間連携	5	3.03	23.6	58.3	15.3	2.8	3.11	26.3	59.6	12.3	1.8	3.02	26.4	52.8	17.0	3.8	3.19	32.1	54.7	13.2	0.0
		6	3.14	37.5	43.1	15.3	4.2	3.09	29.8	49.1	21.1	0.0	3.04	30.2	47.2	18.9	3.8	3.30	45.3	41.5	11.3	1.9
教育内容	地域との連携	7	3.22	43.1	40.3	12.5	4.2	3.37	43.9	49.1	7.0	0.0	3.25	43.4	41.5	11.3	3.8	3.36	43.4	50.9	3.8	1.9
		8	3.14	34.7	47.2	15.3	2.8	3.25	35.7	53.6	10.7	0.0	3.06	21.6	62.7	15.7	0.0	3.24	40.0	44.0	16.0	0.0
		9	3.11	30.6	52.8	13.9	2.8	3.11	28.1	54.4	17.5	0.0	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	3.17	37.7	45.3	13.2	3.8
		10	3.17	38.9	40.3	19.4	1.4	3.25	35.1	56.1	7.0	1.8	3.00	20.8	58.5	20.8	0.0	3.17	37.7	43.4	17.0	1.9
		11	3.04	34.7	40.3	19.4	5.6	3.09	36.8	42.1	14.0	7.0	2.91	26.4	43.4	24.5	5.7	3.04	35.8	35.8	24.5	3.8
	知育	12	2.69	15.3	45.8	31.9	6.9	2.86	22.8	43.9	29.8	3.5	2.49	7.5	39.6	47.2	5.7	2.75	15.1	50.9	28.3	5.7
		13	2.86	18.3	54.9	21.1	5.6	3.05	29.8	49.1	17.5	3.5	2.94	26.4	45.3	24.5	3.8	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8
		14	2.73	19.7	43.7	26.8	9.9	2.88	19.3	50.9	28.1	1.8	2.75	23.1	36.5	32.7	7.7	3.00	28.3	49.1	17.0	5.7
		15	3.28	38.9	52.8	5.6	2.8	3.30	45.6	38.6	15.8	0.0	3.25	37.7	49.1	13.2	0.0	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0
教育内容	徳育	16	3.14	27.8	59.7	11.1	1.4	3.18	31.6	54.4	14.0	0.0	3.04	28.3	47.2	24.5	0.0	3.29	40.4	48.1	11.5	0.0
		17	3.21	31.9	58.3	8.3	1.4	3.05	24.6	57.9	15.8	1.8	3.13	37.7	41.5	17.0	3.8	3.19	34.0	52.8	11.3	1.9
		18	2.94	25.0	48.6	22.2	4.2	3.00	22.8	54.4	22.8	0.0	2.94	26.4	47.2	20.8	5.7	3.15	34.0	49.1	15.1	1.9
		19	3.01	26.4	50.0	22.2	1.4	3.19	35.1	50.9	12.3	1.8	2.96	17.0	66.0	13.2	3.8	3.15	24.5	67.9	5.7	1.9
		20	2.85	22.2	44.4	29.2	4.2	3.00	24.6	50.9	24.6	0.0	2.91	26.4	41.5	28.3	3.8	2.92	22.6	50.9	22.6	3.8
生徒指導	カウセリング	21	2.79	19.4	45.8	29.2	5.6	3.07	31.6	45.6	21.1	1.8	3.00	20.8	62.3	13.2	3.8	3.04	32.1	41.5	24.5	1.9
		22	3.01	33.3	43.1	15.3	8.3	3.09	33.3	47.4	14.0	5.3	3.00	38.5	32.7	25.0	3.8	3.25	37.7	50.9	9.4	1.9
		23	3.03	29.2	48.6	18.1	4.2	3.30	40.4	50.9	7.0	1.8	3.11	34.0	47.2	15.1	3.8	3.21	35.8	50.9	11.3	1.9
		24	2.97	31.9	38.9	23.6	5.6	2.88	22.8	49.1	21.1	7.0	2.87	28.3	35.8	30.2	5.7	2.94	34.6	32.7	25.0	7.7
		25	2.67	17.9	40.3	32.8	9.0	2.81	15.8	52.6	28.1	3.5	2.60	15.1	43.4	28.3	13.2	2.65	14.3	44.9	32.7	8.2
教員の資質向上	国際化																					
その他																						

注： A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について： A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

		設 問 (保護者対象) 20項目				高等学校				中学校						
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。														
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。														
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。														
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われませんか。														
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思われませんか。														
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。														
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。														
8		習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。														
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。														
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。														
11		いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。														
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。														
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。														
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われませんか。														
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われませんか。														
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いませんか。														
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか。														
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われませんか。														
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われませんか。														
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。														
21	事務室の対応	本校の事務室の対応(窓口・電話)は適切であり、誠意をもって対応していると思われませんか。														

評価平均		2.92
2017年度	3.01	
2016年度	3.03	2.84
2015年度	3.01	2.88
2014年度	2.99	2.88

2017年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) 一過去4カ年比較— 【資料2-1】

高等学校																										
分類	大項目	NO	小項目	2014年度						2015年度						2016年度						2017年度				
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D			
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.37	50.0	38.1	10.7	1.2	3.31	48.0	37.4	11.7	2.8	3.34	48.1	40.2	9.7	2.0	3.34	48.6	38.3	11.4	1.7			
		○ 2		3.33	48.5	38.7	10.3	2.5	3.30	46.6	38.5	12.6	2.2	3.35	49.0	39.1	9.9	2.0	3.33	48.4	38.9	10.2	2.5			
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.05	24.9	58.3	14.4	2.4	3.06	25.7	57.1	14.9	2.4	3.07	24.6	60.5	13.4	1.6	3.06	25.2	58.3	14.0	2.5			
		○ 4		2.69	16.5	47.3	24.9	11.2	2.83	19.8	51.6	20.5	8.1	2.75	15.6	53.2	22.6	8.5	2.81	18.0	53.6	20.0	8.4			
	情報公開	5	HPの活用	3.02	24.1	56.4	16.0	3.4	2.99	22.5	57.6	16.3	3.6	3.01	23.2	58.5	14.9	3.4	3.01	24.3	57.2	14.0	4.5			
		○ 6		2.78	15.7	51.2	27.8	5.3	2.80	16.6	51.5	26.7	5.2	2.91	20.4	54.9	20.1	4.6	2.88	21.1	51.5	22.3	5.1			
	教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.89	23.2	47.4	23.7	5.7	2.88	23.2	48.2	22.4	6.2	2.92	22.3	51.7	22.3	3.8	2.85	21.8	48.3	23.0	6.9		
			○ 8		2.72	15.7	48.2	28.5	7.6	2.70	15.9	46.0	30.6	7.5	2.73	16.1	47.5	29.6	6.9	2.68	16.5	43.8	30.6	9.1		
徳育		○ 9	スローラーナーへの対応	2.98	26.6	49.3	19.8	4.4	3.05	29.6	49.2	18.2	3.0	3.06	29.0	51.4	16.7	2.9	3.01	28.5	48.5	18.6	4.3			
		○ 10		3.18	33.4	52.3	12.6	1.6	3.22	35.4	52.6	10.9	1.1	3.21	33.4	55.1	10.8	0.7	3.16	31.6	55.6	10.6	2.2			
体育		○ 11	社会規範の理解とモラルの醸成	3.03	22.8	59.8	14.5	2.8	3.08	25.9	58.0	13.9	2.2	3.08	24.4	60.7	13.2	1.7	3.05	24.9	58.7	13.5	2.9			
		○ 12		3.21	34.7	52.5	11.4	1.4	3.25	36.5	52.4	10.5	0.6	3.21	33.6	54.8	10.8	0.8	3.23	36.3	51.8	10.7	1.2			
生徒指導・生徒支援	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.01	27.0	50.4	19.7	2.9	3.14	33.8	48.4	15.8	2.0	3.14	32.8	51.2	13.8	2.2	3.15	33.5	50.6	13.5	2.4			
	14	3.05		27.5	53.1	15.7	3.7	3.06	27.9	52.6	17.1	2.5	3.08	26.4	58.2	13.1	2.3	3.04	27.7	52.4	16.8	3.1				
	生徒指導	15	指導方針の一貫性	2.78	17.9	47.3	29.7	5.1	2.88	22.2	47.6	26.1	4.1	2.83	18.6	50.0	28.0	3.4	2.80	20.4	46.0	27.2	6.4			
		○ 16		2.56	26.1	27.7	25.2	21.0	2.41	21.6	25.1	28.3	25.1	2.53	23.5	30.1	25.0	21.5	2.46	24.4	24.5	25.7	25.4			
	進路指導	17	家庭との連携状況	2.86	22.6	47.4	23.7	6.4	2.84	21.0	48.6	24.3	6.1	2.91	23.9	48.9	22.0	5.2	2.91	25.2	46.9	21.5	6.3			
		生徒会活動		18	3.09	34.2	44.2	17.6	3.9	3.12	37.5	42.9	13.7	5.8	3.09	36.0	42.7	15.6	5.7	3.11	38.2	40.9	15.3	5.6		
	教員研修	教員の研修活動	19	部活動支援状況	3.13	31.1	52.7	14.1	2.0	3.17	33.8	51.2	13.1	1.9	3.14	30.7	54.8	12.4	2.1	3.15	32.3	52.4	12.9	2.4		
			○ 20		2.81	18.6	50.3	24.0	7.1	2.85	19.7	50.0	25.7	4.5	2.92	20.9	54.4	20.6	4.1	2.84	19.9	50.2	24.2	5.7		
	その他	窓口対応	21	学校行事指導体制	3.26	38.8	50.4	8.4	2.4	3.30	40.3	50.6	7.7	1.4	3.37	46.9	45.3	6.1	1.7	3.37	46.4	46.1	5.5	2.0		
			○ 21		2.81	18.6	50.3	24.0	7.1	2.85	19.7	50.0	25.7	4.5	2.92	20.9	54.4	20.6	4.1	2.84	19.9	50.2	24.2	5.7		

注：○は併設校共通項目

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2017年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(中学校) —過去4カ年比較— 【資料2-2】

中学校																											
分類	大項目	NO	小項目	2014年度						2015年度						2016年度						2017年度					
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.19	44.4	36.4	13.3	5.9	3.26	43.2	42.7	11.1	3.0	3.26	44.4	41.4	10.9	3.3	3.30	44.7	43.2	9.6	2.4				
		○ 2		2.98	30.7	43.0	19.7	6.6	3.05	30.8	47.9	16.8	4.5	3.05	34.5	44.6	14.3	6.5	3.18	38.6	44.9	12.6	3.9				
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.06	29.1	50.7	17.5	2.7	3.03	22.8	58.5	17.2	1.5	2.99	23.4	55.5	19.0	2.1	3.07	22.5	62.8	12.9	1.8				
	情報公開	○ 4	HPの活用	2.84	20.0	52.5	18.5	9.0	2.83	20.0	50.0	23.7	6.3	2.79	22.6	43.6	24.6	9.2	2.88	24.0	49.2	18.2	8.5				
	危機管理	5	初動対応	2.99	29.9	46.6	16.4	7.2	2.88	23.4	47.5	22.9	6.2	2.88	23.4	48.1	22.0	6.5	2.88	23.5	47.9	21.1	7.5				
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.84	21.0	47.6	26.0	5.4	2.74	17.7	45.4	30.6	6.3	2.80	20.5	46.4	26.5	6.5	2.81	17.5	50.6	26.2	5.7				
教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.71	19.5	42.6	26.7	11.1	2.71	20.1	41.1	28.2	10.6	2.54	17.5	35.0	32.9	14.5	2.74	18.5	46.9	23.6	11.0				
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.63	18.0	41.0	26.6	14.4	2.53	15.1	37.2	33.0	14.7	2.37	12.8	33.9	33.0	20.2	2.63	20.3	34.3	31.9	13.4				
	○ 9	保護者との連携	2.85	23.1	45.4	24.9	6.5	2.85	21.9	46.9	25.9	5.2	2.77	20.5	46.1	25.0	8.3	2.94	23.9	49.0	23.6	3.6					
	徳育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.97	26.5	48.8	19.9	4.8	2.96	23.9	51.7	21.1	3.3	2.96	23.8	54.2	17.6	4.5	3.03	24.3	56.6	17.4	1.8				
		○ 11	いじめへの対応	2.96	25.2	51.6	17.2	5.9	2.93	23.0	52.4	19.6	5.0	2.89	23.3	49.9	20.9	6.0	2.94	24.3	50.9	19.2	5.7				
	体育	○ 12	健康な身体づくり	3.18	34.3	51.8	11.8	2.1	3.09	25.9	58.5	14.1	1.5	3.15	31.5	55.2	11.6	1.8	3.18	31.3	56.3	11.0	1.5				
生徒指導・生徒支援	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	2.91	24.1	49.7	19.3	6.8	2.96	24.3	50.9	21.3	3.6	2.89	26.4	43.9	23.1	6.5	3.08	29.5	52.7	14.8	3.0				
	生徒指導	14	指導方針の一貫性	2.78	20.3	47.2	22.4	10.1	2.82	21.2	46.5	25.6	6.7	2.80	20.5	48.1	22.8	8.6	2.93	23.1	52.1	20.7	4.2				
		15	家庭との連携状況	2.81	20.2	48.1	24.3	7.4	2.75	20.0	40.9	33.6	5.5	2.78	22.9	42.0	27.4	7.7	2.82	18.0	51.4	25.5	5.1				
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	2.76	37.0	25.9	15.4	21.7	2.66	32.4	25.2	20.2	22.2	2.55	29.6	23.0	21.5	26.0	2.40	24.9	23.1	19.8	32.1				
	進路指導	17	進路指導体制	2.49	10.1	43.8	31.5	14.6	2.55	10.9	41.5	38.7	8.8	2.47	9.9	42.6	34.5	12.9	2.57	11.1	44.9	34.0	9.9				
	生徒会活動	18	部活動支援状況	2.67	20.2	41.4	24.1	14.3	2.85	24.5	43.6	25.2	6.7	2.78	22.3	44.0	24.4	9.2	2.75	22.2	41.7	25.2	10.8				
		19	学校行事指導体制	3.04	27.0	53.7	15.7	3.6	3.10	31.1	50.2	16.3	2.5	3.02	28.9	49.7	17.6	3.9	3.05	28.1	52.2	16.4	3.3				
	教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.60	15.9	41.7	30.0	12.3	2.65	17.8	39.6	32.3	10.3	2.50	15.1	37.7	32.2	15.1	2.74	15.7	49.1	28.3	6.9			
その他	窓口対応	21	事務室の対応	3.30	42.5	46.4	9.6	1.5	3.27	42.0	45.6	10.4	2.1	3.35	46.8	44.7	6.7	1.8	3.37	47.4	44.6	7.0	0.9				

評価基準について A: そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2017年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート — 高中別 — 【資料2②】

高等学校全体			中学校全体										
小項目		設 問（生徒対象）	20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。											
2		この学校に入學して良かったと思いますか。											
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。											
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。											
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。											
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。											
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。											
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。											
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。											
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。											
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。											
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。											
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。											
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。											
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。											
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。											
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。											
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。											
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。											
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。											
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。											
				評価平均	2017年度 3.00								
					2016年度 3.00								
					2015年度 2.96								
					2014年度 2.90								
					2.88								
					2.88								
					2.93								
					2.89								

2017年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） —3カ年の推移—

【資料2-3】

分類	大項目	NO	小項目	2015年度					2016年度					2017年度					学年別評価									
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D				
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.21	43.3	39.2	12.7	4.8	3.07	3.15	3.41	3.26	45.2	38.8	12.3	3.7	3.14	3.21	3.42	3.24	44.1	40.4	10.7	4.7	3.05	3.30	3.39	
		○ 2		2.95	31.7	40.0	19.3	8.9	2.76	2.81	3.27	2.98	32.5	40.4	19.9	7.1	2.76	2.94	3.26	3.21	29.3	42.8	17.9	10.0	2.67	2.89	3.22	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.66	19.4	40.3	27.9	12.4	2.60	2.48	2.90	2.72	19.6	43.4	26.7	10.3	2.53	2.74	2.89	2.86	18.2	44.1	26.9	10.7	2.60	2.66	2.86	
		○ 4		2.73	22.4	41.2	24.1	12.3	2.63	2.63	2.93	2.65	20.0	39.5	26.7	13.8	2.49	2.66	2.81	2.88	20.8	40.6	25.9	12.7	2.51	2.72	2.88	
	情報公開	○ 5	HPの活用	2.91	24.9	47.9	20.6	6.5	2.81	2.83	3.10	2.95	25.9	49.1	18.9	6.2	2.85	2.90	3.09	3.10	26.5	48.4	18.4	6.7	2.82	2.94	3.10	
		○ 6		2.97	27.9	46.7	19.8	5.6	2.87	2.85	3.19	3.19	38.0	45.7	13.6	2.7	3.09	3.16	3.32	3.31	36.7	43.5	15.9	3.9	2.93	3.17	3.31	
	教育内容	危機管理	○ 7	選難訓練や安全対策	2.82	22.1	46.4	23.3	8.2	2.76	2.61	3.09	2.87	23.8	46.7	21.9	7.6	2.70	2.84	3.06	3.08	24.0	44.4	22.8	8.7	2.66	2.80	3.08
			○ 8		2.86	25.7	41.5	25.6	7.1	2.85	2.60	3.12	2.87	24.5	45.4	22.5	7.6	2.67	2.87	3.06	3.07	26.2	41.6	23.7	8.5	2.70	2.82	3.07
知育		○ 9	学力向上における組織的な取組	2.99	31.6	42.0	20.1	6.4	2.93	2.87	3.17	3.06	33.0	45.9	15.1	6.0	2.96	3.04	3.18	3.12	33.4	44.1	16.3	6.1	2.99	3.04	3.12	
		○ 10		2.95	28.0	45.3	20.1	6.6	2.85	2.84	3.15	2.98	28.7	46.8	18.0	6.5	2.86	2.95	3.12	3.08	28.5	45.6	19.6	6.3	2.87	2.95	3.08	
徳育		○ 11	社会規範の理解とモラルの醸成	2.87	26.1	43.9	21.0	8.9	2.86	2.72	3.04	2.95	29.2	43.6	20.1	7.1	2.75	2.99	3.10	3.09	28.6	42.4	20.8	8.1	2.77	2.90	3.09	
		○ 12		3.10	32.9	48.5	13.9	4.7	3.05	3.03	3.21	3.17	38.1	44.6	13.4	3.9	3.13	3.16	3.21	3.24	40.3	42.0	14.3	3.3	3.16	3.19	3.24	
生徒指導・生徒支援	体育	○ 13	健康な身体づくり	3.00	31.8	44.7	15.4	8.1	3.01	2.82	3.17	3.13	36.1	44.5	15.4	4.0	3.11	3.10	3.17	3.17	35.3	43.7	15.9	5.1	3.04	3.07	3.17	
		○ 14		3.02	30.8	46.9	16.4	6.0	2.95	2.89	3.23	3.07	32.1	47.6	15.2	5.1	2.93	3.07	3.20	3.17	32.4	44.7	16.2	6.6	2.94	3.00	3.17	
	学校間連携	○ 15	中高大連携事業の実践	2.82	23.0	45.6	22.2	9.2	2.72	2.68	3.06	2.87	24.9	45.1	22.3	7.6	2.64	2.92	3.06	3.09	26.6	44.3	21.6	7.6	2.72	2.91	3.09	
		○ 16		2.88	35.9	31.7	16.9	15.5	2.51	3.01	3.11	2.78	32.1	31.3	20.0	16.6	2.34	2.81	3.19	3.11	31.5	30.7	18.8	18.9	2.43	2.75	3.11	
	生徒指導	○ 17	指導方針の一貫性	2.91	27.0	45.0	20.1	7.8	2.78	2.76	3.20	2.96	28.8	44.5	20.3	6.4	2.76	2.90	3.21	3.21	29.3	46.7	17.9	6.1	2.86	2.93	3.21	
		○ 18		3.06	35.6	42.4	14.3	7.7	2.95	2.90	3.32	3.08	38.0	39.5	15.0	7.5	3.00	3.04	3.20	3.27	39.1	40.0	13.1	7.8	3.02	3.05	3.27	
生徒会活動	○ 19	部活動支援状況	3.12	38.7	41.7	12.5	7.0	3.09	2.94	3.33	3.16	39.5	41.7	13.9	4.8	3.10	3.16	3.21	3.29	40.9	40.4	13.2	5.6	3.08	3.14	3.29		
	○ 20		2.87	25.7	46.0	17.9	10.3	2.74	2.71	3.16	2.96	28.6	45.9	17.9	7.6	2.77	2.99	3.11	3.15	28.8	43.6	19.6	8.0	2.72	2.94	3.15		
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.87	25.7	46.0	17.9	10.3	2.74	2.71	3.16	2.96	28.6	45.9	17.9	7.6	2.77	2.99	3.11	3.15	28.8	43.6	19.6	8.0	2.72	2.94	3.15	
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.37	52.3	35.7	8.5	3.4	3.36	3.29	3.46	3.29	49.0	35.8	9.9	5.3	3.22	3.26	3.37	3.45	51.1	33.6	11.2	4.1	3.25	3.26	3.45	

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

2017年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2015年度(全学年)					2016年度(全学年)					2017年度(全学年)					学年別評価								
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D			
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.22	47.3	34.2	12.0	6.6	3.36	3.15	3.25	3.21	45.0	36.7	12.6	5.7	3.16	3.33	3.14	3.23	47.6	33.6	13.7	5.0	3.39	3.02	3.29
		○ 2		2.96	32.8	40.7	16.0	10.5	3.34	2.82	2.86	2.87	30.5	37.1	21.6	10.9	2.91	3.15	2.51	3.02	35.7	39.0	17.3	8.1	3.27	2.59	3.18
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.66	20.7	39.8	24.7	14.8	2.98	2.48	2.61	2.63	18.9	39.8	26.6	14.6	2.68	2.79	2.38	2.78	22.6	43.9	22.9	10.6	2.99	2.51	2.85
		○ 4		2.81	30.0	34.2	22.8	12.9	3.08	2.78	2.66	2.76	26.0	38.4	21.4	14.2	2.80	2.95	2.51	2.99	35.7	35.4	21.6	7.3	3.14	2.74	3.08
	情報公開	5	HPの活用	2.80	25.7	40.9	21.7	11.7	3.06	2.69	2.75	2.81	27.5	37.7	22.6	12.2	2.75	2.96	2.70	2.94	29.3	41.3	23.5	5.9	3.10	2.70	3.02
		○ 6		2.97	33.7	38.0	20.3	8.0	3.06	2.89	2.99	3.05	37.1	37.9	18.4	6.6	3.08	3.17	2.86	3.14	43.5	34.3	15.6	6.7	3.29	2.89	3.25
	危機管理	○ 7	避難訓練や安全対策	2.86	24.9	47.3	17.2	10.6	3.03	2.64	2.95	2.83	25.5	42.1	21.8	10.6	2.86	2.99	2.59	3.01	33.1	42.3	16.8	7.8	3.16	2.73	3.11
		○ 8		3.07	41.1	33.7	17.1	8.0	3.20	3.04	3.04	2.88	30.4	36.7	23.2	9.7	2.82	3.11	2.68	3.04	37.8	36.4	17.9	7.8	3.36	2.63	3.13
教育内容	知育	○ 9	スローラーナーへの対応	3.05	36.9	40.6	13.7	8.9	3.28	2.89	3.02	2.98	37.0	35.2	16.9	10.9	3.04	3.07	2.82	3.11	42.6	34.3	15.0	8.1	3.36	2.88	3.10
		○ 10		2.81	26.6	40.4	20.9	12.0	3.10	2.67	2.71	2.76	23.4	40.5	24.9	11.3	2.79	2.89	2.57	2.93	30.3	41.3	19.1	9.3	3.15	2.66	2.97
	徳育	○ 11	社会規範の理解とモラルの醸成	2.75	25.9	39.3	19.7	15.1	2.99	2.60	2.74	2.67	25.4	34.1	22.8	17.6	2.63	2.85	2.52	2.77	28.3	36.4	21.3	14.0	2.97	2.46	2.88
		○ 12		3.12	40.2	38.8	14.1	6.9	3.38	3.05	3.05	3.16	39.0	42.7	13.5	4.9	3.16	3.28	3.01	3.19	42.3	40.3	12.3	5.0	3.40	2.88	3.28
	体育	○ 13	健康な身体づくり	3.19	45.6	35.0	12.0	7.4	3.37	3.12	3.17	3.12	39.4	40.5	12.6	7.5	3.05	3.31	2.99	3.29	50.1	35.6	8.7	5.6	3.54	3.01	3.32
		○ 14		2.97	33.0	40.7	16.0	10.3	3.25	2.86	2.89	2.96	28.2	46.3	18.7	6.9	2.98	3.09	2.78	3.05	35.9	41.2	14.8	8.1	3.36	2.59	3.18
生徒指導・生徒支援	生徒指導	15	指導方針の一貫性	2.87	28.8	39.9	21.4	10.0	3.20	2.68	2.78	2.82	26.4	39.1	24.6	9.9	2.85	3.03	2.55	2.92	28.8	41.8	21.5	7.9	3.01	2.75	2.98
		○ 16		2.82	42.3	22.6	11.7	23.4	2.47	3.15	2.90	2.77	37.4	25.6	13.5	23.6	2.47	2.88	3.01	2.75	37.6	23.0	16.3	23.0	2.34	2.68	3.18
	カウンセリング	17	カウンセリング体制	2.68	21.4	41.1	22.6	14.9	2.87	2.54	2.77	2.67	21.6	38.5	25.0	14.9	2.57	2.95	2.48	2.89	29.9	38.5	22.3	9.2	3.06	2.59	3.01
		○ 18		2.88	30.2	38.2	20.8	10.8	3.16	2.82	2.77	2.75	29.1	34.6	18.4	17.9	2.79	2.87	2.56	2.95	33.0	38.8	18.4	9.8	3.21	2.56	3.06
	生徒会活動	19	部活動支援状況	3.07	38.4	39.0	13.8	8.9	3.37	2.92	3.05	3.03	38.3	34.6	18.4	8.6	3.09	3.20	2.75	3.22	46.1	36.5	11.2	6.2	3.50	2.96	3.20
		○ 20		2.80	26.2	41.2	18.7	13.8	3.11	2.59	2.83	2.76	26.2	38.0	20.7	15.0	2.77	3.01	2.46	2.85	28.9	38.5	20.8	11.8	2.98	2.55	2.99
教員研修	教員の研修活動	○ 21	教員研修体制	3.24	50.0	30.1	13.5	6.4	3.40	3.25	3.19	3.07	43.3	32.0	12.8	11.9	3.09	3.17	2.93	3.24	50.3	30.2	10.7	8.3	3.37	3.00	3.32
その他	校内環境		学習環境																								

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

No.	設 問	高等学校					中学校				
		評価	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	評価	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)
生徒自身の自己評価		自己評価平均値：3.43 (昨年 3.42)					自己評価平均値： 3.12 (昨年 3.25)				
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.66	70.7%	25.6%	3.0%	0.8%	3.46	55.3%	36.9%	6.1%	1.6%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.56	64.8%	27.7%	6.1%	1.3%	3.35	50.9%	35.3%	11.3%	2.5%
3	あなたはこの授業でわからなない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.27	49.3%	32.6%	14.0%	4.2%	3.04	38.2%	33.8%	21.4%	6.6%
教員に対する授業評価		授業評価平均値：3.55 (昨年 3.52)					授業評価平均値：3.45 (昨年 3.42)				
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.59	69.5%	22.4%	5.7%	2.3%	3.44	61.4%	26.3%	7.4%	4.9%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.63	70.6%	23.3%	4.5%	1.6%	3.55	65.9%	26.1%	4.7%	3.3%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.52	63.9%	26.9%	6.5%	2.7%	3.45	59.2%	30.4%	6.6%	3.8%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.51	64.7%	25.6%	6.1%	3.5%	3.39	58.6%	28.0%	7.5%	5.9%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.62	70.2%	23.6%	4.4%	1.9%	3.49	62.6%	27.4%	6.6%	3.4%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.43	59.3%	28.3%	9.1%	3.3%	3.44	59.3%	29.6%	7.0%	4.1%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.68	76.8%	17.5%	2.8%	2.9%	3.61	70.1%	23.6%	3.3%	3.0%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に応えていましたか。	3.62	69.7%	23.9%	4.7%	1.7%	3.49	62.9%	27.1%	5.9%	4.1%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。	3.57	65.3%	28.4%	4.4%	1.9%	3.44	58.6%	30.0%	7.8%	3.6%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.68	74.9%	19.8%	3.7%	1.5%	3.55	66.4%	24.7%	5.9%	3.0%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.60	67.0%	27.4%	4.0%	1.9%	3.49	64.4%	24.4%	7.1%	4.0%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.73	78.3%	17.7%	2.6%	1.4%	3.65	73.1%	20.3%	4.8%	1.8%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.54	64.6%	26.6%	6.9%	2.0%	3.34	54.6%	30.3%	9.4%	5.7%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.66	73.8%	19.4%	5.6%	1.2%	3.47	59.1%	32.7%	4.5%	3.7%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.34	53.2%	31.7%	11.0%	4.1%	3.30	49.6%	35.4%	10.2%	4.8%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.74	79.3%	16.6%	2.8%	1.3%	3.45	59.0%	30.6%	7.0%	3.3%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。	3.43	57.7%	31.2%	7.6%	3.5%	3.36	53.5%	33.8%	8.3%	4.5%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。	3.69	76.9%	17.3%	3.2%	2.6%	3.52	61.3%	32.1%	3.7%	3.0%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.51	62.7%	28.5%	6.2%	2.7%	3.40	56.5%	31.6%	7.6%	4.2%

2017年度 授業評価面分析資料（教科別）

2017年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-2】

設問\評価	国 語				社 会				数 学				理 科				英 語			
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.33→3.30→3.36→3.35					3.28→3.37→3.45→3.44					3.17→3.30→3.27→3.36		3.24→3.43→3.45→3.39			3.25→3.33→3.26→3.30				
1	3.56	62.5%	31.3%	4.8%	0.9%	3.63	67.4%	28.9%	3.0%	0.7%	3.54	60.0%	34.5%	4.7%	0.8%	3.54	62.1%	31.5%	4.8%	1.7%
2	3.41	54.1%	34.5%	9.7%	1.7%	3.61	68.4%	26.1%	3.7%	1.8%	3.38	53.6%	32.5%	11.9%	2.0%	3.43	56.3%	32.1%	10.0%	1.7%
3	3.07	39.1%	32.9%	23.7%	4.3%	3.07	39.4%	36.3%	16.1%	8.2%	3.16	44.1%	33.1%	17.4%	5.5%	3.21	47.0%	33.3%	13.5%	6.3%
授業評価	3.53→3.38→3.47→3.49					3.52→3.58→3.52→3.50					3.36→3.43→3.48→3.46		3.36→3.57→3.58→3.60			3.42→3.49→3.42→3.37				
4	3.58	67.8%	24.6%	5.3%	2.2%	3.52	66.7%	23.1%	5.2%	5.0%	3.42	59.9%	27.3%	7.4%	5.4%	3.48	60.6%	28.6%	8.9%	1.9%
5	3.56	65.5%	27.1%	5.3%	2.1%	3.61	72.1%	19.7%	4.6%	3.5%	3.56	65.4%	27.0%	5.5%	2.1%	3.70	74.4%	22.1%	2.6%	0.9%
6	3.46	58.3%	31.6%	8.0%	2.1%	3.53	67.6%	22.3%	5.3%	4.8%	3.42	58.7%	29.0%	8.0%	4.2%	3.60	68.1%	25.5%	5.2%	1.3%
7	3.42	59.7%	27.3%	8.4%	1.7%	3.49	66.8%	21.4%	5.8%	6.0%	3.37	56.3%	29.8%	9.0%	4.9%	3.54	64.9%	27.2%	5.2%	2.8%
8	3.55	64.3%	28.1%	5.7%	2.0%	3.54	66.2%	24.9%	5.3%	3.6%	3.52	65.1%	25.3%	6.6%	3.0%	3.66	71.3%	24.9%	2.4%	1.1%
9	3.49	60.6%	29.4%	8.4%	1.7%	3.48	65.3%	22.7%	6.8%	5.1%	3.45	60.2%	28.2%	7.6%	4.0%	3.55	63.7%	28.9%	5.7%	1.7%
10	3.55	64.0%	28.9%	5.5%	1.6%	3.53	66.1%	24.8%	5.0%	4.2%	3.58	68.0%	24.0%	5.9%	2.0%	3.66	72.4%	22.7%	4.1%	0.9%
11	3.51	61.4%	30.0%	7.3%	1.4%	3.49	62.1%	29.2%	4.0%	4.7%	3.57	66.2%	26.6%	5.5%	1.7%	3.67	70.8%	25.7%	2.8%	0.7%
12	3.58	66.7%	26.8%	4.8%	1.7%	3.67	74.6%	20.1%	2.5%	2.8%	3.55	66.3%	24.6%	6.5%	2.1%	3.62	67.5%	27.9%	3.9%	0.7%
13	3.56	66.7%	24.1%	7.5%	1.7%	3.41	60.7%	24.9%	8.8%	5.6%	3.42	57.7%	29.6%	9.3%	3.4%	3.64	70.7%	24.5%	3.3%	1.5%
14	3.36	52.8%	33.7%	9.9%	3.6%	3.38	57.7%	27.7%	9.1%	5.5%	3.26	48.2%	34.6%	12.3%	5.0%	3.49	61.9%	27.2%	8.6%	2.2%
15	3.40	54.4%	34.0%	8.6%	3.0%	3.41	59.3%	27.7%	7.1%	5.8%	3.44	57.3%	32.5%	7.1%	3.1%	3.56	64.8%	28.2%	5.4%	1.7%
16	3.41	54.9%	34.0%	8.0%	3.1%	3.48	62.1%	27.7%	6.2%	4.0%	3.43	56.1%	33.2%	8.1%	2.6%	3.60	67.6%	26.2%	4.7%	1.5%

設問／評価 自己評価	保健体育					芸術					情報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	3.59→3.56→3.56→3.71					2.90→3.31→3.65→3.58					3.61→3.74→3.77→3.77					3.62→3.77→3.68→3.60				
2	3.85	86.7%	12.0%	0.7%	0.7%	3.73	77.4%	18.3%	3.8%	0.5%	3.80	81.2%	18.1%	0.0%	0.7%	3.72	75.0%	21.8%	3.2%	0.0%
3	3.78	81.2%	16.4%	1.5%	0.8%	3.66	71.5%	23.1%	4.8%	0.5%	3.79	82.6%	14.8%	1.3%	1.3%	3.60	68.3%	23.7%	8.1%	0.0%
3	3.51	62.6%	27.8%	7.3%	2.3%	3.34	49.5%	37.6%	10.8%	2.2%	3.74	79.2%	16.1%	4.0%	0.7%	3.47	57.4%	33.0%	9.0%	0.5%
授業評価	3.66→3.62→3.62→3.74					2.95→3.06→3.69→3.46					3.34→3.80→3.80→3.70					3.60→3.78→3.72→3.68				
4	3.81	86.6%	9.0%	2.7%	1.7%	3.56	65.9%	26.5%	5.4%	2.2%	3.86	87.8%	10.2%	2.0%	0.0%	3.79	81.9%	15.4%	2.7%	0.0%
5	3.80	84.2%	13.1%	1.0%	1.7%	3.65	72.4%	22.7%	2.7%	2.2%	3.70	74.5%	21.5%	3.4%	0.7%	3.73	75.4%	22.5%	2.1%	0.0%
6	3.74	79.6%	16.3%	2.3%	1.8%	3.42	55.9%	33.3%	7.5%	3.2%	3.61	71.1%	20.1%	7.4%	1.3%	3.70	72.9%	25.0%	1.6%	0.5%
7	3.73	79.7%	16.0%	2.3%	2.0%	3.27	52.2%	29.6%	11.3%	7.0%	3.74	80.5%	14.8%	3.4%	1.3%	3.62	67.0%	28.2%	4.3%	0.5%
8	3.78	83.5%	12.9%	1.7%	2.0%	3.51	60.8%	32.3%	4.3%	2.7%	3.75	81.9%	12.1%	5.4%	0.7%	3.71	75.5%	20.2%	3.7%	0.5%
9	3.69	79.2%	15.0%	1.7%	4.2%	3.53	65.6%	25.3%	5.9%	3.2%	3.72	77.2%	18.1%	4.0%	0.7%	3.66	70.2%	26.1%	3.2%	0.5%
10	3.74	79.7%	16.1%	2.2%	2.0%	3.46	59.7%	29.6%	8.1%	2.7%	3.77	82.6%	12.8%	4.0%	0.7%	3.73	76.6%	20.2%	2.7%	0.5%
11	3.73	78.7%	17.1%	2.5%	1.7%	3.42	55.4%	34.4%	7.0%	3.2%	3.66	75.2%	17.4%	6.0%	1.3%	3.61	69.7%	22.9%	5.9%	1.6%
12	3.76	80.7%	15.8%	1.8%	1.7%	3.60	69.9%	23.1%	4.3%	2.7%	3.65	72.5%	20.8%	6.0%	0.7%	3.71	76.1%	19.7%	3.7%	0.5%
13	3.68	75.5%	19.1%	3.0%	2.3%	3.37	55.4%	29.0%	12.9%	2.7%	3.64	72.5%	18.8%	8.7%	0.0%	3.63	66.3%	30.5%	2.7%	0.5%
14	3.73	79.6%	15.6%	2.7%	2.2%	3.56	66.1%	25.8%	5.9%	2.2%	3.68	75.8%	17.4%	5.4%	1.3%	3.60	64.9%	30.3%	4.3%	0.5%
15	3.73	79.4%	16.3%	2.3%	2.0%	3.29	51.1%	34.4%	7.0%	7.5%	3.68	77.2%	15.4%	5.4%	2.0%	3.70	71.8%	26.6%	1.1%	0.5%
16	3.72	80.6%	14.0%	2.5%	2.8%	3.29	49.5%	36.8%	7.1%	6.6%	3.64	73.2%	18.8%	6.7%	1.3%	3.71	75.1%	21.6%	2.7%	0.5%

※自己評価と授業評価

黄色の帯のところは、過去4年間の推移

2014年→2015年→2016年→2017年

※A～Dの数値は構成比

単位は%